昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和51年3月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

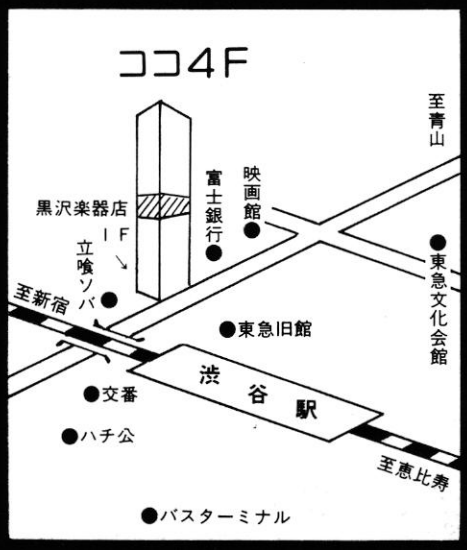
77 MARCH 1976



世界で初めて
BADMINTONだけの

ラケットショップ元町・渋谷店

☎03−400−7390



バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 77
1976年3月号　目次

表紙撮影，本文中写真・山田真市，編集部

●昭和50年度全日本総合選手権大会・団体戦
千葉，池田を破り，栄冠をもたらす……2
男子は高岡市役所が楽勝
●第7回全日本チャンピオンズ・トーナメント
湯木あぶなげなく優勝……3
植野はあと一歩でスタミナ切れ

湯木，無念の全英不参加……2

◆新連載◆お母さんや子供のバドミントンのためのシリーズ・第1回
種をまき，苗を育てるとき——伊藤基記……5

●第7回ユーバー杯大会記録
ジャカルタの新聞とユーバー杯——後藤忠弘……6

第7回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント・グラフ……9

目で見る技術講座＝湯木博江に学ぶ
①フォアからのクロスのクリヤー……16
②ドロップショット……18
③バックハンド——その1……20
④バックハンド——その2……22

「ユーバー杯奪還への道」刊行のお知らせ……26
第7回ユーバー杯大会日本チーム監督として＝その1
ユーバー杯防衛へ多難の出発——小飼栄一……27
●昭和51年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表……30
●'76関東大学バドミントン春季リーグ戦大会案内……32
●大会予定カレンダー……32

千葉（日女体大）、池田（河崎）を破り、栄冠をもたらす

――男子は高岡市役所が楽勝

昭和50年度全日本総合選手権大会団体戦は、2月14日、15日の両日、東京・国立競技場代々木第二体育館で開催され、男子は、高岡市役所が順当に優勝したが、女子は日本女子体育大学が、千葉の大健闘で河崎ラケットを降し、みごとに栄冠を獲得した。

◆男子

▼準決勝

| | | |

第7回全日本チャンピオンズ・トーナメント

湯木、あぶなげなく優勝

――植野はあと一歩でスタミナ切れ

第7回全日本チャンピオンズトーナメントは、昨年の各大会チャンピオンおよびそれに準ずる選手を集めて、3月5日、東京・国立競技場第二体育館で行われた。今大会は、四条畷学園高から2名、同短大から2名、河崎ラケットから2名、旭光学、新潟青陵短大教員各1名の8名が参加、期待の植野は、高田に敗れ、決勝は湯木、池田のパートナー同士の争いとなり、湯木が順当に優勝した。

▼第一試合

石川 2（11－8, 11－5）0 沼能

▼第二試合

高田 2（12－9, 12－9）0 堀川

▼第三試合

池田 2（11－1, 11－0）0 石川

▼第四試合

高田 2（12－10, 10－12, 12－11）1 植野

▼準決勝

池田 2（4－11, 11－1, 12－10）1 徳田

湯木 2（11－5, 11－5）0 高田

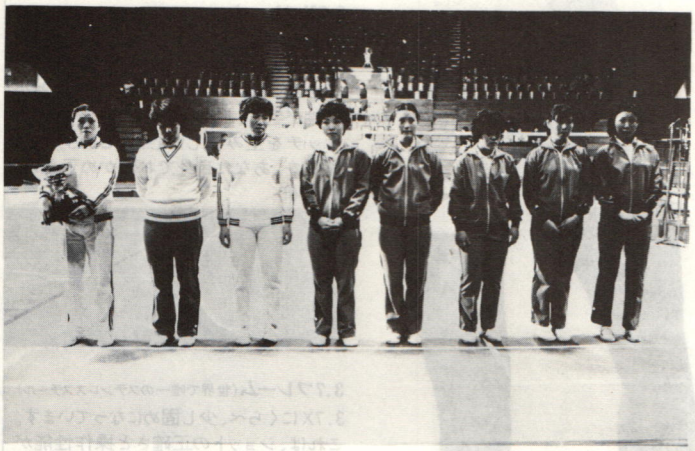
▼決勝

湯木 2（12－10, 10－12, 11－6）1 池田

◆出場選手◆

石川 好子＝四条畷学園高校
植野恵美子＝四条畷学園高校
高田 幹子＝四条畷学園短大
徳田 敦子＝四条畷学園短大
堀川栄美子＝新潟青陵高校教員
沼能 久子＝旭光学益子工場
池田 美加＝河崎ラケット工業
湯木 博恵＝河崎ラケット工業

湯木，今年も栄冠をガッチリ



左から，湯木，堀川，池田，沼能，徳田，高田，植野，石川の各選手

女子ダブルス（相沢マチ子・栂野尾（旧姓竹中）悦子）の二種目のチャンピオンシップを持ちながら、今年は不出場となった。

とくに湯木は、出場すれば優勝は確実とみられていただけに、きわめて残念なことである。

また、ABC招待大会に参加するとみられていたインドネシアは、ハルトノ、チュンチュン、ワジュディらトップクラスの選手を全英選手権に派遣しており、今後わが国がどのような態度を貫いていくべきか複雑な事情となってきた。

この問題については、当編集部より日本バドミントン協会国際委員会に公式見解を依頼してありますので、いずれ誌上に掲載する予定です。

またABC招待大会には、男女ともわが国のランキング上位選手を派遣する予定でしたが、男子はトマス杯アジア地区予選と期日が接近しているため、また女子の湯木、池田らは体調の不調からそれぞれ辞退、男女ともに大学生の若手を派遣した。

カアルトンの素晴らしい仲間たち

ギリアン・ギルクスとポール・ウェトナルは、
最近、英連邦の国際試合で、ダブルス、シングルスの
タイトルのほとんどを獲得。
二人ともラケットはカアルトンを選びました。

二人がカアルトンのラケットを
選んだとき、すでに勝負は決りました。
あなたもカアルトンのラケットで
プレーをして、感触をお確かめ下さい。



英連邦ダブルス、シングルスチャンピオン
右：ギリアン・ギルクス
英国No.1
左：ポール・ウェトナル

3.7Xフレーム(世界で唯一のステンレススチール)
大切なパワーの起点であるシャフトの少し上をフラットに仕上げてあります。この為、ストロークのホイップに抜群の弾性が生れ、パワーとスピードと絶妙のタッチを生み出しました。この3.7Xの感覚を、あなた自身でお確かめ下さい。
¥7,900

3.7フレーム(世界で唯一のステンレススチール)
3.7Xにくらべ、少し固めになっています。これは、ショットの正確さと操作性能が狙いの設計です。ラケットのTピースが弾性のトータルバランスを配分し、すばやい反応を起します。 ¥7,900

carlton

That's the name of the game.

IBF(世界バドミントン連盟)公認球
ニュートーナメント——1個¥280
インターナショナル——1個¥220

総輸入元 メトロレジャー(株)
〒101東京都千代田区外神田5-6-4 TEL(03)833-3661

◆新連載◆お母さんや子供のバドミントンのためのシリーズ・第一回

種をまき、苗を育てるとき

伊藤基記——熊本女子大学教授・元日本協会指導委員長

最近、全国各地で、ママさんバレーにまけないほど、ママさんバドミントンが台頭してきましたね。小学生や中学生のバドミントンに至っては飛躍的といってよいブームの兆しを見せています。お母さん方のバドミントンは大体**二つの流れ**をもっています。

一つは、高校時代や大学時代にバドミントンを選手としてやっていた方々が結婚して、子供さんが小学、中学に進み、ラケットを握る生活的、気分的な余裕が生れてきて、若い頃のように打てるかしら……案外いけるじゃないの……貴女もおやりなさいよ……チョットよそのチームに当って見ましょうよ……大会はないかしらとエスカレートしたグループ。

もう一つは、先述の生活的余裕の条件や、運動不足を何とかしたい、子供と一緒に汗を流して、お友達に誘われたりして……たまたま講習会で味をしめて……いわゆる**体力づくりの一環**として**できあがったグループです。このグループの色彩は上述の二色にはっきりわけられているとは限りませんが、濃淡の差こそあれ、この二つが配置されていることは否定できません。

さて、バドミントンはなぜこんなに面白いのでしょう。それにはいろいろの理由があると思いますが、お母さん方が意識するとしないにかかわらず、普通の家庭生活や、家庭外の仕事の中では満たしてくれないものを、**バドミントン・コートが満たしてくれる**ということでしょう。

その第一は、**思う存分にひっぱたけるということ**ではないでしょうか。ある程度、シャトルがラケットのガット面に当って相手方に弾きだされ、ネットをこしてのラリーがつづくようになれば、そして曲りなりにもゲームらしいものができれば、相手からのフライトがネット近くに浮いているところを、上方から思いっ切りたたきつけるスマッシュの快感を味わうことができます。

考えてみますと、バドミントンぐらい、**全身をしなやかなむちのようにつかって、連続的にひっぱたくスポーツ**はほかに例がないのではありませんか。

この無制限の打撃は家庭婦人の日常生活には皆無ですね。けれども、女だてらにといわれようと、おしとやかな女性も、内面では**思いっ切り、体の中の力を放出する欲求**をもっていると思いますよ。それに、大きいクリアで相手をのけぞらしたり、反対に、ネット際にそっと、ドロップをしのび込ませて、相手を前によろめかしたり、天下公認のもとに、**いじわる**ができるのですね。人間は誰でも、かけひきをしたり、だましたり、いじわるをしてみたいものですよ。

けれども、それが相手の気分を害してしまったり、本質的にいじめてしまうことになる……犯罪的なものはもちろん許されません。スポーツの世界では誰も傷つけないで、むしろ、微笑を伴って、いじわる的なプレーをすることができます。

ここにストレスを追い出す強い力があることは否定できません。やる方はすっきりするが、やられる方は……とてもじゃない……という御意見が返ってくると思いますが、いつかこちらも追いつけるぞという希望や、意慾、それにかねて、なるべく同じ位のレベルの方々が集まる工夫をすれば、結構、汗の中で、爆笑もあるハッスルがつづくものですよ。

子供達のバドミントンについては、「**種をまき、苗を育てる**」という一言につきますね。

大人になってからでは、全く手をやく導入も、子供の時代には、いとも簡単にやってのけてくれます。ラケットと羽根さえ与えて、打たせておけば、ほとんどの坊や、お嬢さんが、**自然に正しいフォーム**を生みだしてくれるから、人間の体というものは不思議なものですね。

手はどうの、足はどうのという前に、基礎的な遊び……手のさきに何かを握って、そのさきでものを扱う遊び、ボール投げ、のようなものを与えておけばよいのです。従来、学校体育の指導要領という、足かせで、とめられていた、学校の先生の体育の授業の中でのラケット遊びの指導というものも、少しずつ出現しています。お母さんやお父さんに手をひかれて、見よう、見まねで、いつの間にか素晴らしいプレーヤーに成長した例を私は沢山知っています。

「貴方も、君も、僕も、私も、貴女も、必ず立派なプレーヤーになれる」

そのことについて、ラケットの握り方、振り方、いろいろの基礎、基本の練習法を、次回から、エピソードもいれて、お話しします。どうぞ、続けてしっかり読んでくださいね。

第7回ユーバー杯大会記録

ジャカルタの新聞とユーバー杯

後藤忠弘（日本協会理事・同大会派遣員）



本稿は別冊「ユーバー杯奪還への道」に収録する予定でしたが、同書のスペースの都合で本誌に掲載することになったものです。第7回ユーバー杯大会が現地ジャカルタでどのように報道されたかを知るには、大変貴重な資料であると思います。

（編集部）

ユーバー杯関係記事が、インドネシアの新聞でどのように取り上げられたか。本書用および日本協会の今後の資料用にと、共同通信の長谷川特派員の手をわずらわして、集めたものの一部が、ここに掲載された写真。これで大体はわかってもらえるだろうが、どうして、どうして、大変なものだった。

筆者の手元にあるのは英字紙がインドネシア・タイムス、現地語紙がコムパス、スアラカルヤ、ムルデカ、シナールハラパンの4紙。インドネシア語の新聞は、大なり小なり〝大衆紙〟と思われ、それだけに扱いも派手。

決勝（インドネシアの優勝）はいずれも一面、それも単にトップというのではなく、1ページのほとんどを感激と興奮でぬりつぶした。本来のスポーツ面はというと、各試合ごとの詳細な経過説明。日本語でなら各試合五、六十行はありそうな分量が。日本では未来永劫にあり得ないことずくめで、全く恐れ入ってしまう。

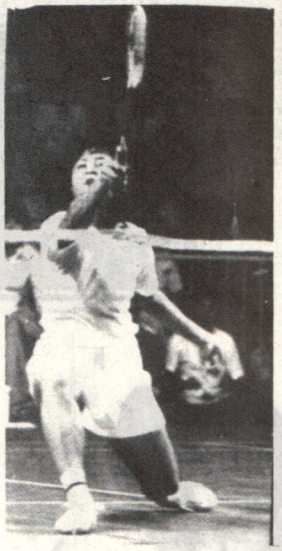
ただ、日本の新聞のように、なんでもかんでも急げ急げ、はない。だから、朝刊に前夜の結果が全部載っていないこともしばしばだったが、決勝だけは特例と見え、各紙とも要点は、洩れなく収録されていた。

英字紙で一つ気がついたのは「ゲーム」を「セット」と書くなど、日本の一部の報道やプレーヤーと同じく、誤用が散見し

Merdeka Halaman VIII

Merdeka OLAHRAGA Merdeka OLAHRA

INDONESIA REBUT PIALA UBER



Theresia Widiastuty

Indonesia targetkan 4 besar

Jakarta, 6/6 (Antara).

Indonesia akan berusaha untuk menempatkan diri pada kelompok "Empat besar" kejuaraan golf amatir beregu Asia memperebutkan "Nomura Cup–VII" yang akan diselengarakan di Tokio selama empat hari mulai hari Rabu pekan nanti.

Hal itu dikemukakan oleh sekjen Persatuan Golf Indonesia (PGI) Dr. Kusnaeni.

Dikemukakan oleh Drs. Kusnaeni, dalam kejuaraan di Jepang nanti Indonesia akan berusaha memperbaiki prestasi yang pernah diperlihatkan dalam kejuaraan2 sebelumnya. "Kami ingin berusaha untuk dapat mencatat skor2. 900 stroke setelah dalam kejuaraan2 yang lalu Indonesia paling baik mencatat skor 920 stroke , katanya.

Jakarta, 6 Juni (Merdeka)

Indonesia untuk pertama kalinya berhasil merebut kejuaraan dunia bulutangkis beregu wanita setelah dalam final perebutan Piala Uber di Istora Jakarta Jum'at malam memperoleh 4 angka kemenangan yang diperlukan.

Kemenangan ditentukan setelah pasangan ganda Minarni/Regina Masli mengalahkan pasangan Hiru-Yuki/Mika Ikeda 15-8, 15-11.

Pertandingan terakhir antara Theresia/Imelda — Aizawa/Takenaka berakhir 17-14, 15-0 untuk Indonesia. Sehingga kedudukan seluruhnya 5-2 untuk Indonesia

Theresia — Hiru Yuki

Theresia yang nampaknya dijadikan korban, diset pertama membuat langkah yang lambat. Yuki yang tenang dan kelihatan bermain dengan otaknya bermain mantap dengan permainan kombinasi lob, drop, chop dan netting yang miuhat dengan seekali melancarkan smash yang terarah. Dengan cepat Yuki meninggalkan Theresia 0-1, 0-2, 0-3, 0-4, 0-5 sebelum Theresia berhasil menghentikan laju perjalanan Yuki ketika sang pemain Jepang ini smashnya nyangsang dinet.

Pada kedudukan 0-5 terjadi 5 kali perpindahan bola tanpa seorang pemainpun yang berhasil merebut angka. Bahkan Yuki yang mengambil alih bola pada perpindahan yang keenam menambah angka menjadi 6 ketika smashnya yang keras menggulir dibibir net tanpa Theresia berhasil mengembalikannya.

Theresia berhasil memecahkan sang telor dengan suatu smash yang keras dan terarah untuk kemudian menambah angka menjadi 3-6

Barangkali karena menyadari bahwa Hiru Yuki bukanlah lawannya, Theresia Widiastuty bermain seperti ditinggalkan saat kehat serta dan memberikan smash dari kiri.

Taty yang nampak masih segar dengan dukungan sorak riuh penonton2 yang menghariapkan Piala Uber direbut Indonesia tanpa ampun menyudahi set kedua dengan cepat. 8-1, 8-2, 9-2, 10-2 dan 11-2.

Utami — Nakayama

Partai Tunggal Ketiga yang



Taty Sumirah



Minarni

kemudian mengambil alih permain dan berhasil menutup set kedua untuk kemenangannya setelah drop dan smash Theresia tsb menemui sasaran, 11-1.

Taty — Tokuda

Harapan 10.000 penonton yang memenuhi Istora Senayan timbul lagi ketika Taty Sumirah yang dipasang ditempat kedua turun kelapangan menghadapi Atsuko Tokuda.

Nampaknya penonton mulai

menemui sasaran. Kalau tidak nyangsang dinet, out atau Yuki berhasil mengembalikan bola sambil mengecoh lawan. Jago Jepang itu dengan cepat menggalkannya 0-1, 0-2, 0-3, 0-4, 0-5, 0-6, 0-7, 0-8, 0-9. Untuk kemudian Theresia berhasil merebut satu-satunya angka ketika Yuki gagal mengembalikan bola dinet. Namun itu tampaknya sebagai selingan karena Yuki



SATURDAY JUNE 7, 1975

SPORTS

UBER CUP FINALS

UBER CUP '75
31 MEI - 6 JUNI '75
JAKARTA

TOKUDA OUTPLAYED BY TATY

Minarni/Masli Beats Takenaka/Aizawa

By Our Reporter

One more Tati Sumirah repeated for her brilliant performance against the Japanese University's Student Champion Atsuko Tokuda in straight set with which two days ago she had crumbled fortress of English badminton supremacy



たことだ。男女とも世界一の国にしては、と思ったが、これは英字紙自身の責任だろう。

写真は、日本のカメラマンのように、機種も多く性能もいいものを持っているカメラマンが少ないこと、印刷、製版技術の関係などもあってか、日本には及ばないようだ。チームに同行した山田カメラマンの力を、改めて認識させられた。

日本に対する取材も、かなりあった。空港到着、本会場スポーツ・パレスでの初練習、パーティ、組合せ抽選会、いろんな場面を取材された。小飼監督以下の日本チーム・スタッフが、根掘り葉掘り聞かれてはうるさいだろうと、できるだけ協会の広報担当でもある筆者（後藤）が応待するようにした。

ところが、チーム首脳は決勝組合わせの前まで「向こう（現地紙新聞記者）は中山が出るかどうか、その場合のオーダーを知りたがっているのだから、うかつなことをしゃべってくれるなよ」と、筆者のところへ何度も言いに来て、ハラハラのしどうし。せっかく仕事を肩代わりした効果も上がらなかったようだ。

筆者は、日本に関することはできるだけ話すのが、大局的に考えて、親善の波及効果が多いと信じていたが、中山の一件だけは、筆者自身がオーダー交換の時点まで、ただの一度もチーム首脳に質問したことがなかったから、他にしゃべりようもなかった。しかし、チーム首脳が筆者に、中山が出場するかどうか、一言も教えなかったのも事実で、その首脳の態度から逆に「中山は必ず出る」と推察だけはしていた。

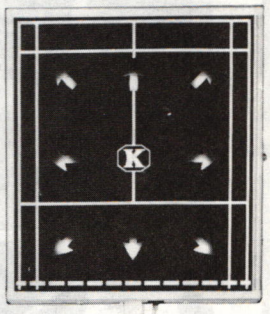
まあ、それはともかく、一座の主役の湯木のほか、脚光をあびたのは、新星・徳田だった。過去の経歴（対外試合または海外試合）がプログラムに載っていないため、対カナダ戦でいきなり飛び出したときは、インドネシアの記者連中も、いささか驚いたらしい。

わざわざ宿舎まで取材に来てボーイフレンドの有無まで、多彩な質問をあびせた。日本にいても、まだ、そこまでは聞かれたことがないらしく、強心臓で有名な、このハイティーンも、目を白黒していた。

さらに、大会終了の翌日、フリーのレポーターが一人、また取材に来て、プールで泳いでいる徳田の写真をとっていった。水着姿のバドミントン選手の写真は、そういえば、本誌「バドミントン界」でも、これまでに登場したことがない。

BADMINTON TRAINING MACHINE

バドミントン
トレーニング
マシン



プレイヤーの誰れもが求める
華麗なるフットワーク

右に左にとシャトルを追うそのフットワーク。このバドミントントレーニングマシンは、プレイヤーの反射神経を高め、敏捷性を養うために造られたフットワーク練習機です。明日への試合のために各有名スポーツ店にてお求めください。



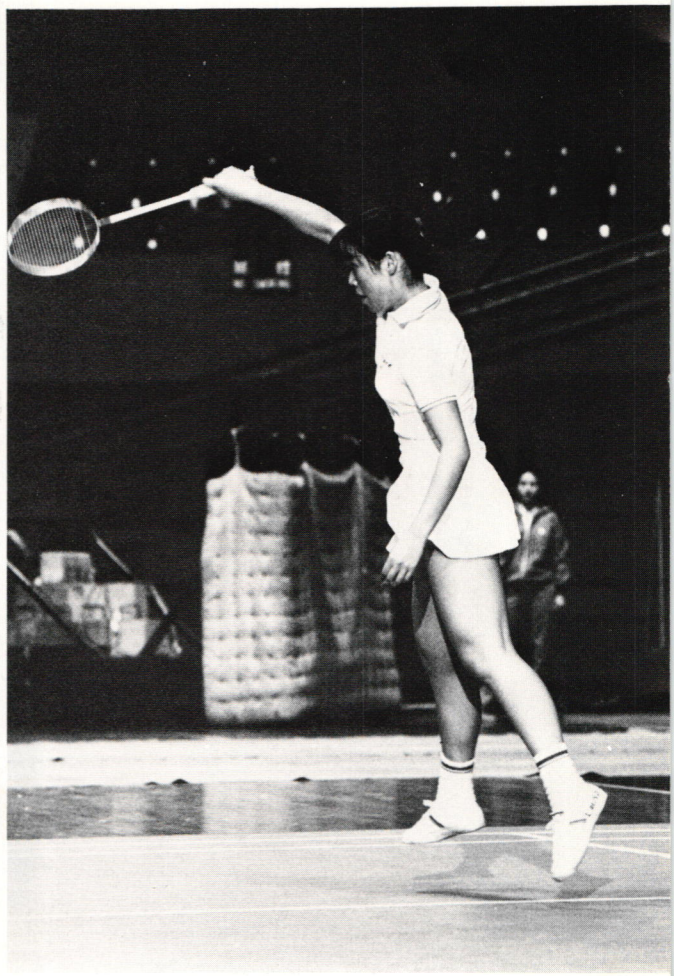
カワサキラケット

河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5　TEL(03)831-9161(代)

実案・意匠申請 ￥29,000

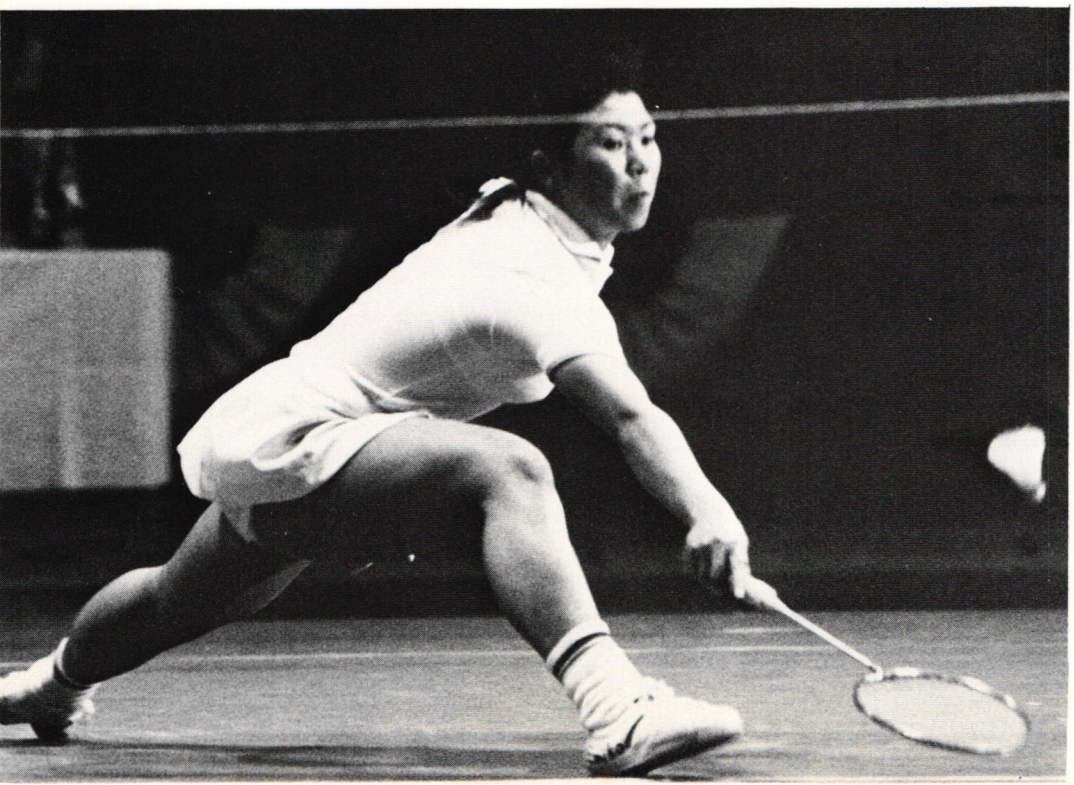


第７回全日本女子チャンピオンズ・トーナメント・グラフ



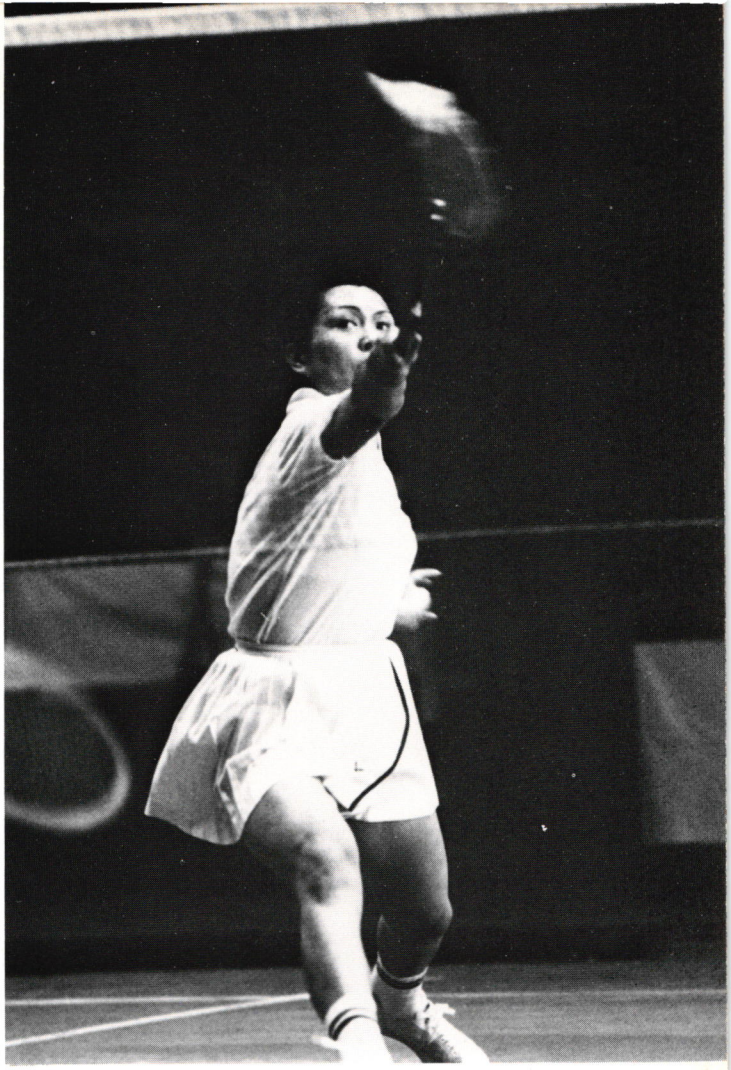
コート狭しと走り回ったが、スタミナ切れか、フットワークが乱れてしまった

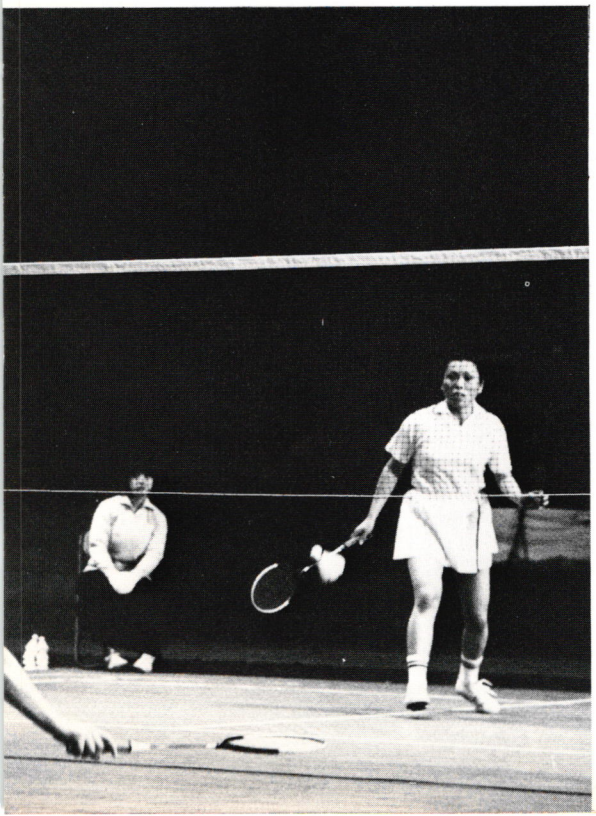
植野恵美子

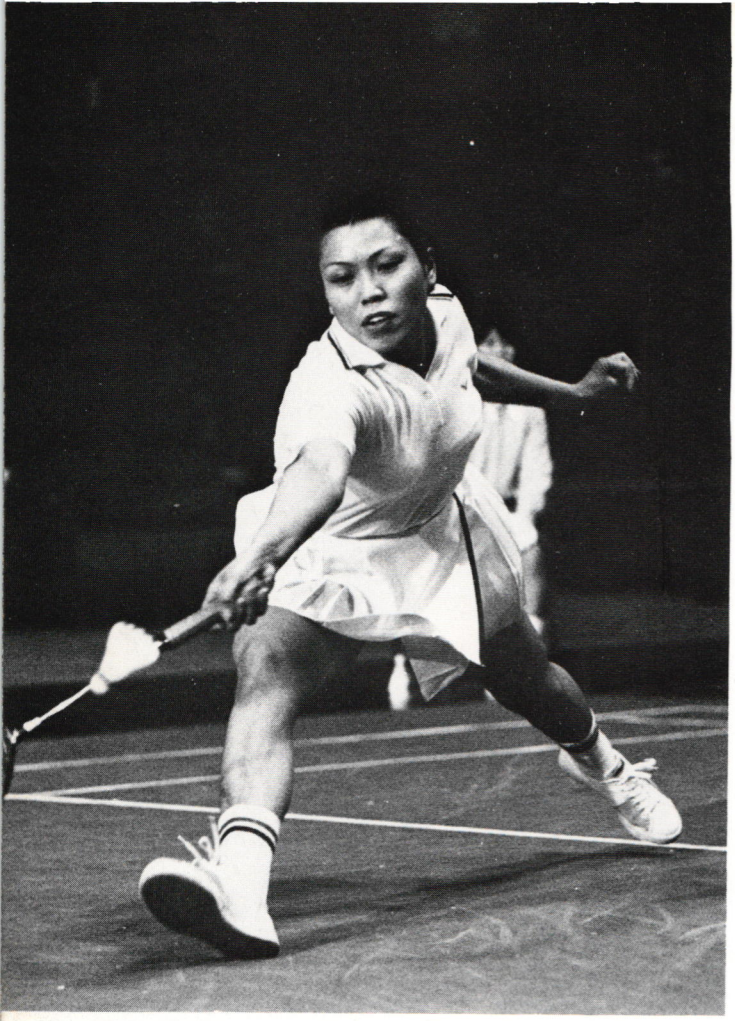


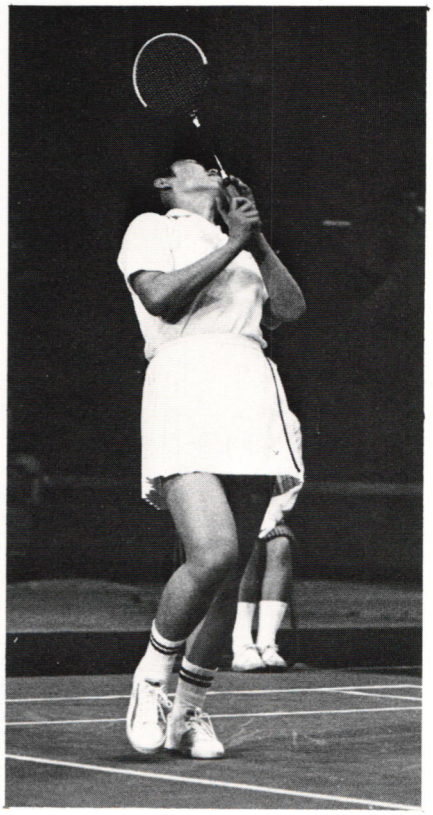
湯木博恵

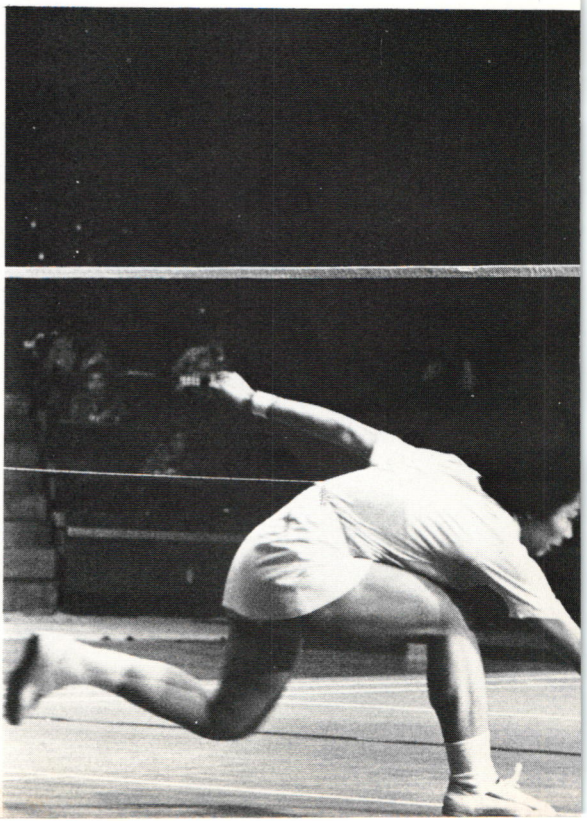
今年も優勝したが、自分をおびやかす者が出てこないのは寂しそう……





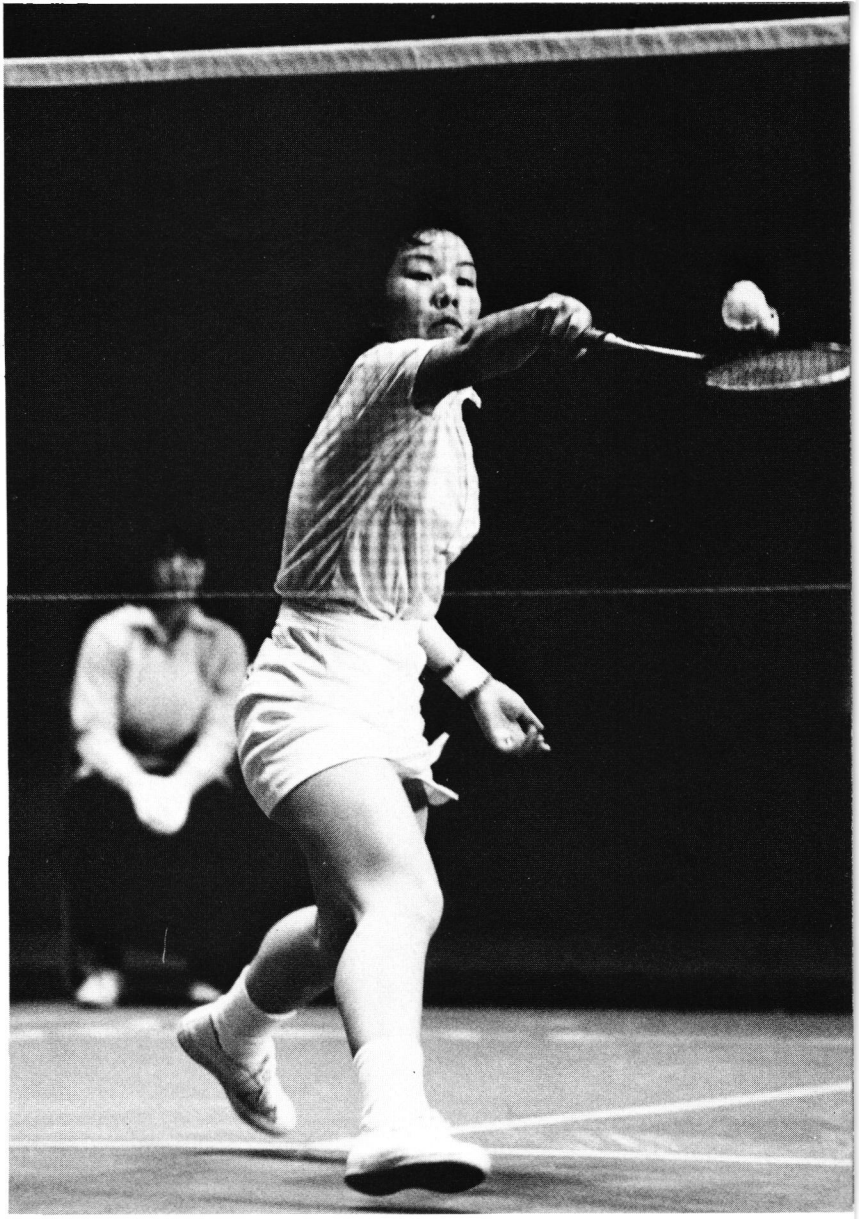




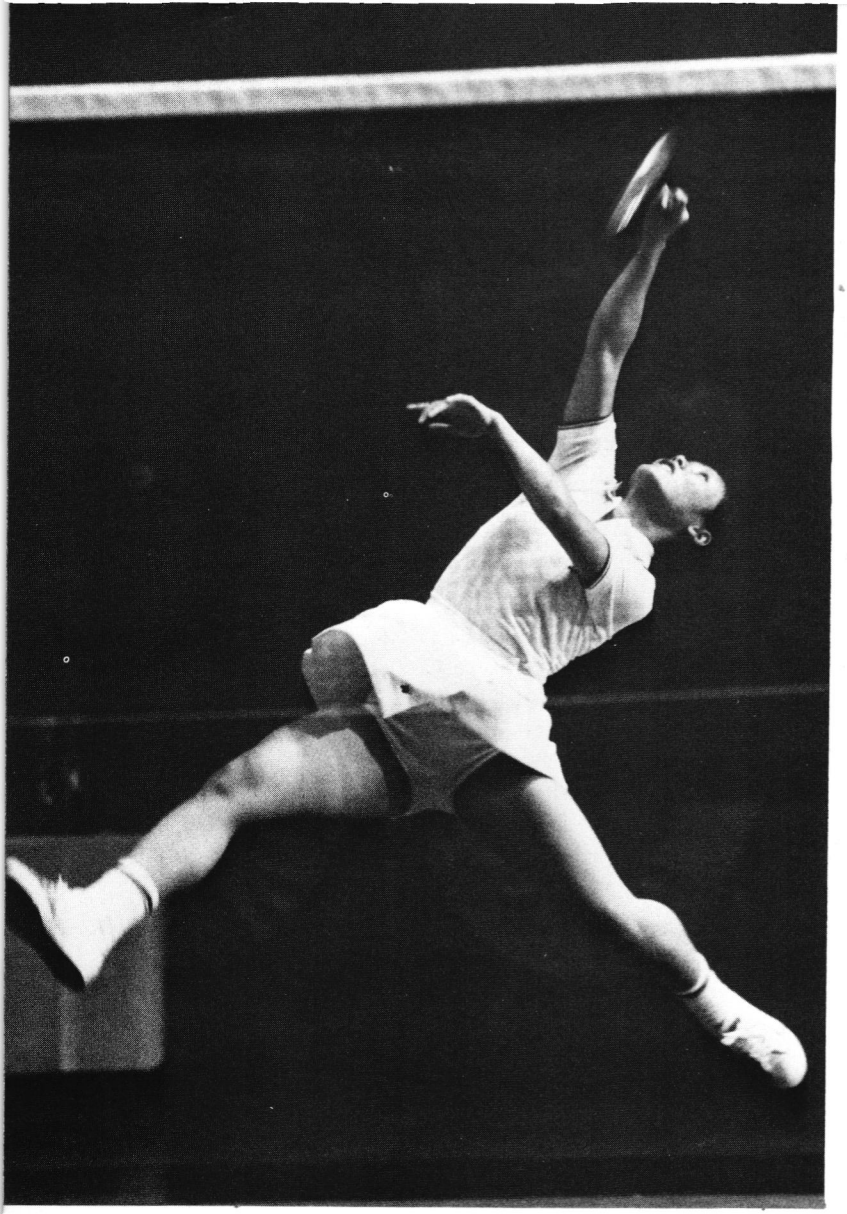


池田美加

徳田には逆転勝ちしたが、湯木のカベは厚かった

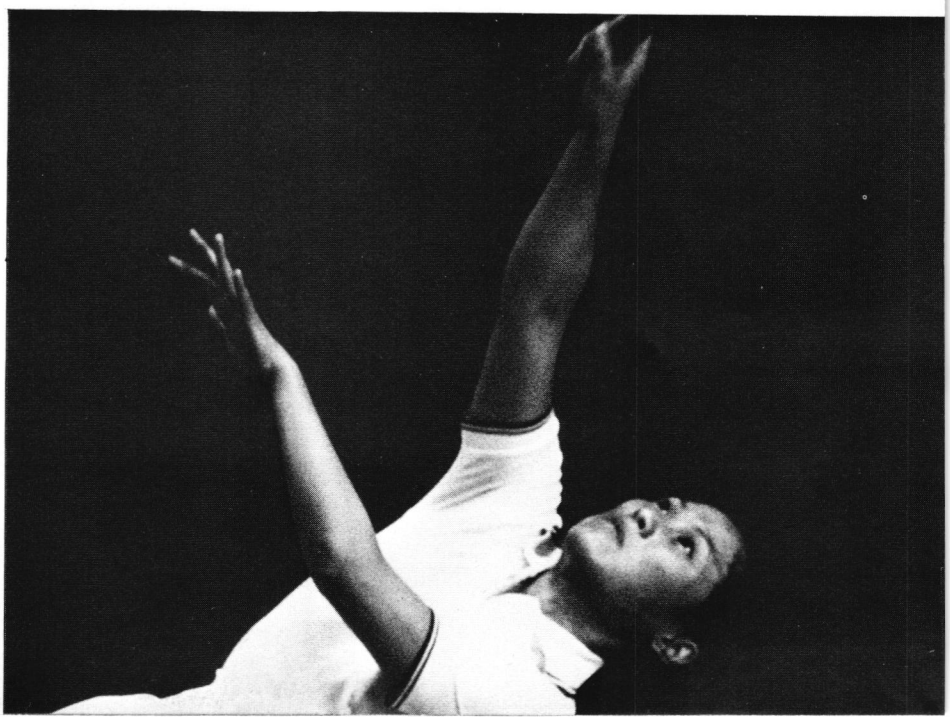




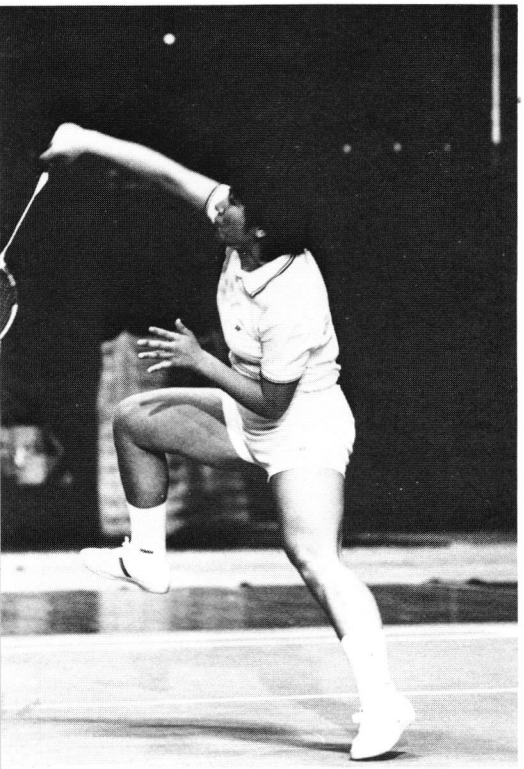


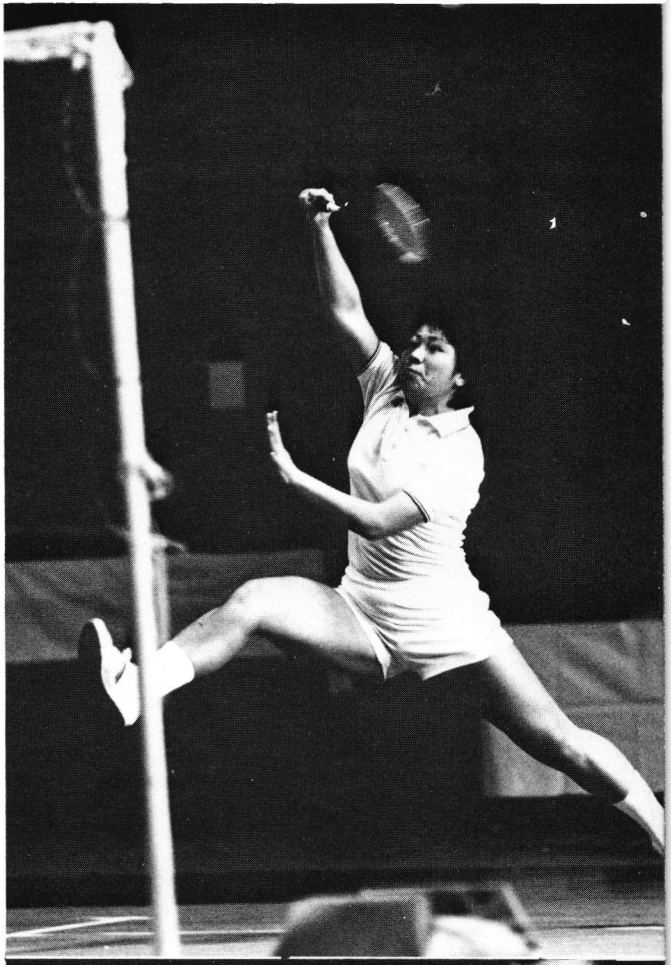
決勝進出まであと一歩、しかしツメの甘さから逆転負け

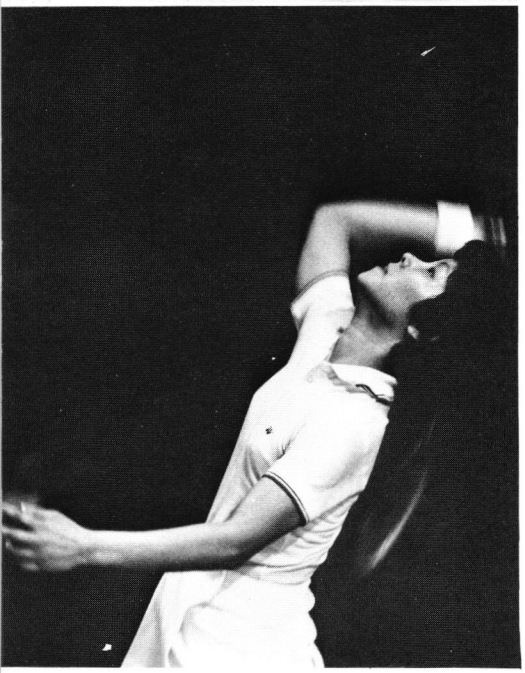
徳田敦子

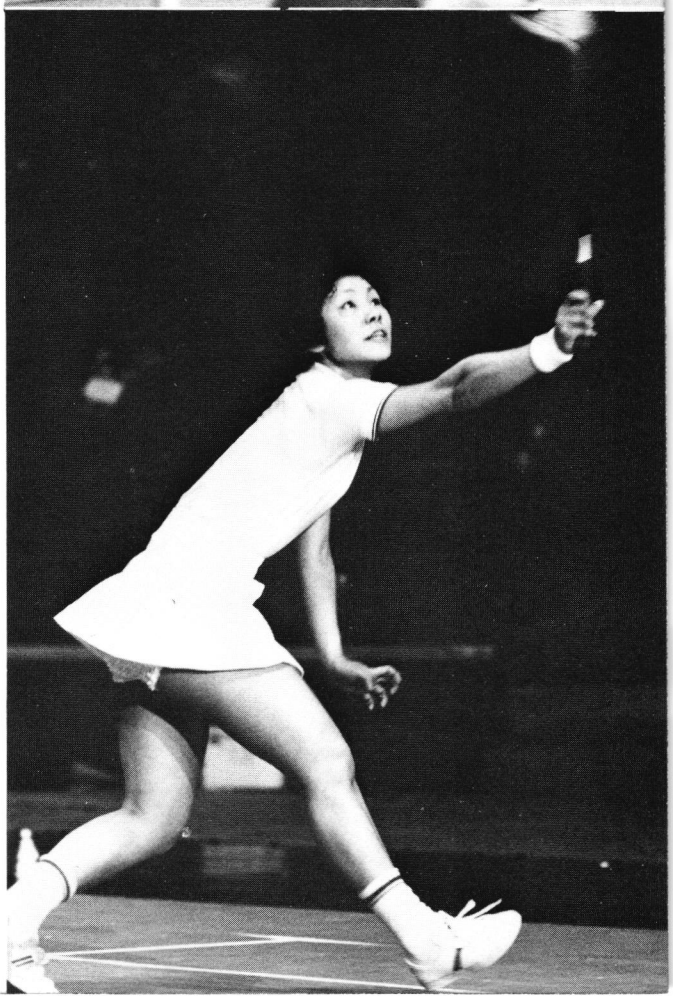


堀川栄美子

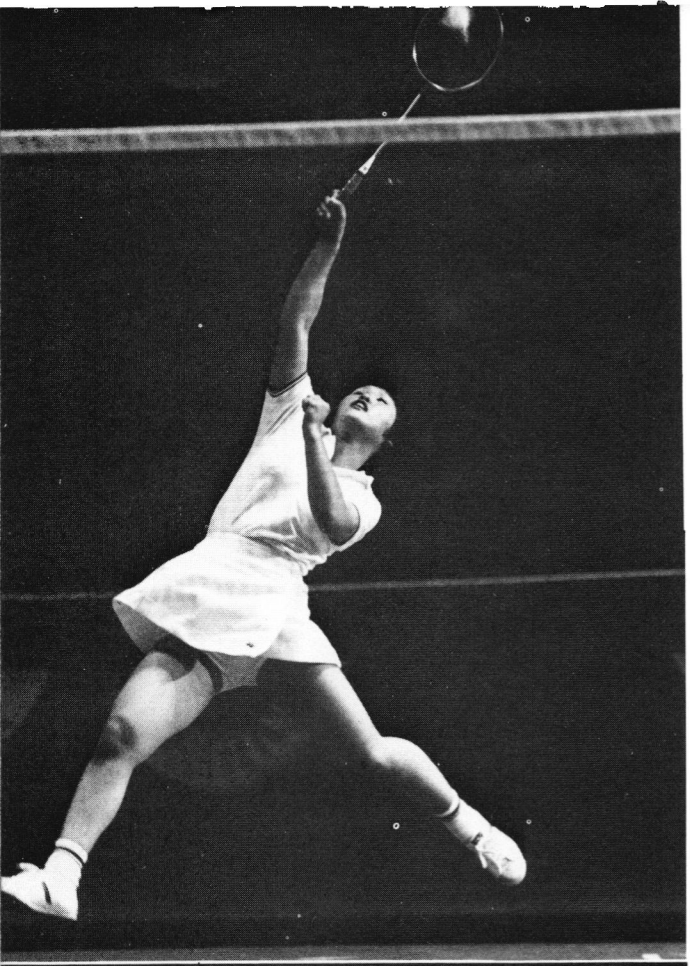




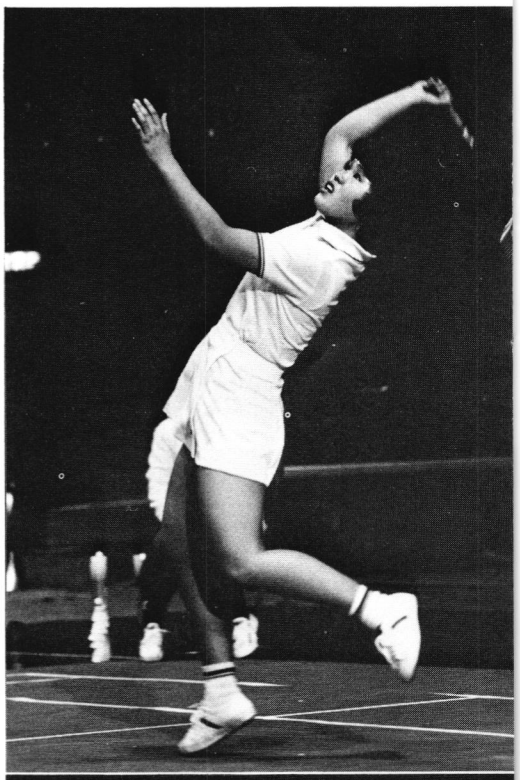


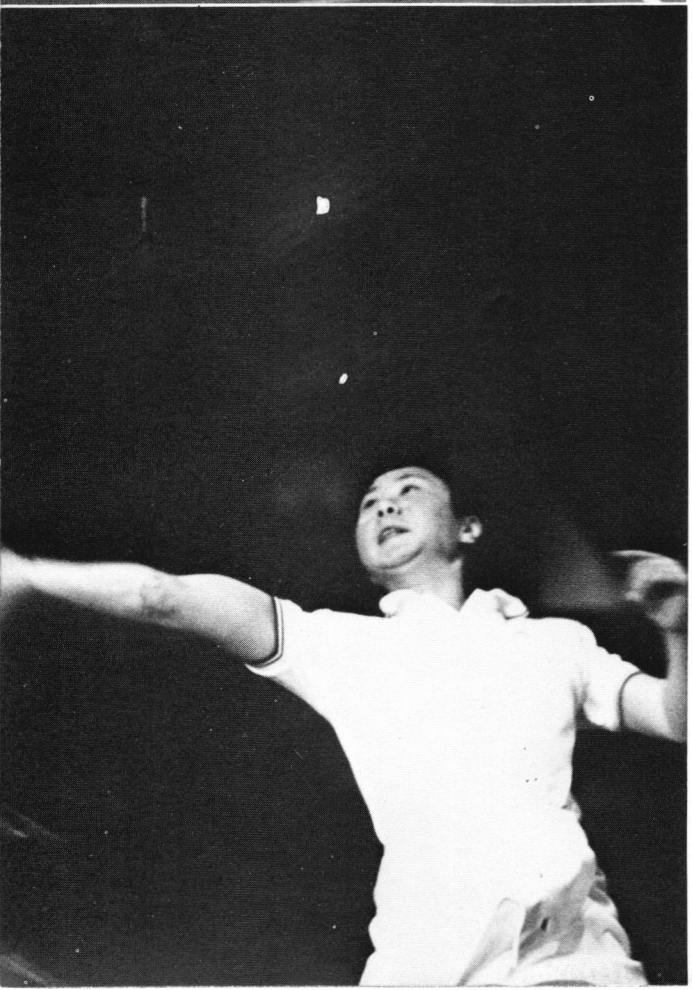


沼能久子



高田幹子







石川好子

目で見る技術講座＝湯木博恵に学ぶ

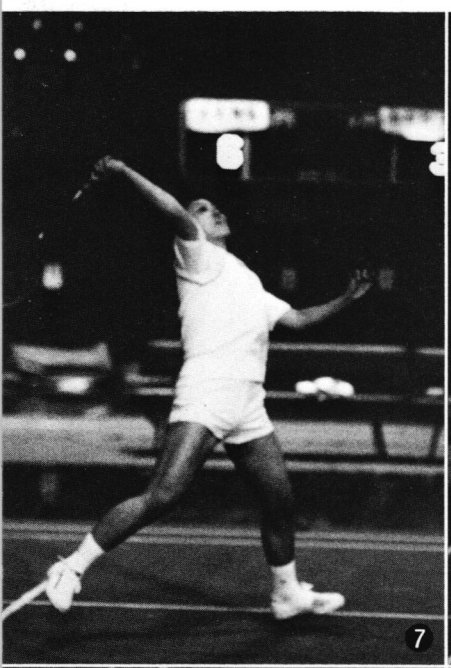
① フォアからのクロスのクリヤー

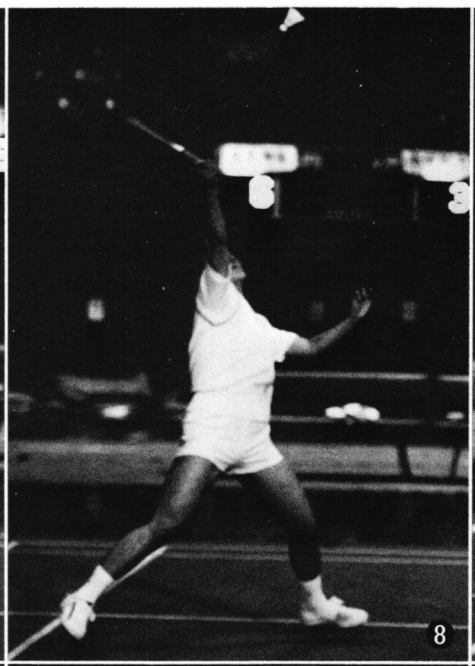
今回の「目で見る技術講座」は、先日の第7回全日本女子チャンピオンズ・トーナメントで優勝した湯木博恵選手の研究です。

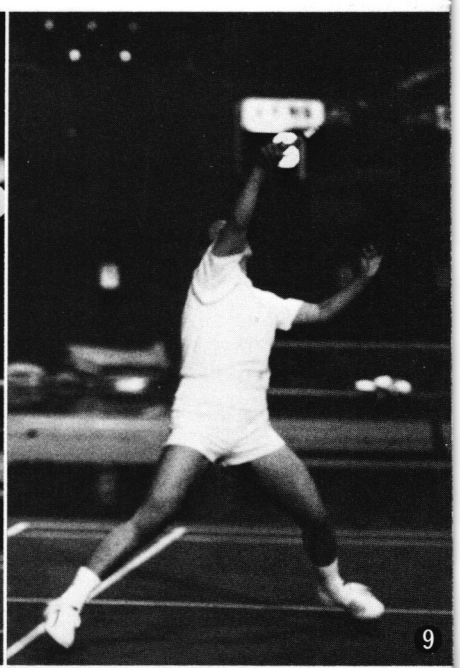
現在の実力世界ナンバーワンは衆目の一致するところですが今年は協会の方針で全英選手権大会には不参加。出場すれば三連覇は確実視されていただけに非常に残念なことです。

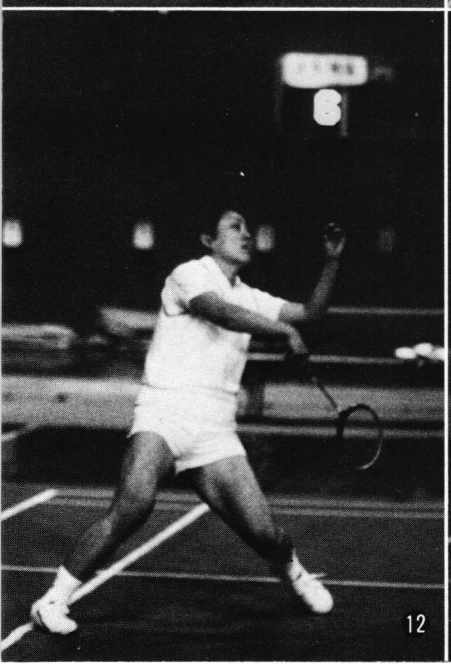
これは、フォアの奥をつかれたボールに対して、大きく踏み込み、相手にクロスの返球をしたものです。

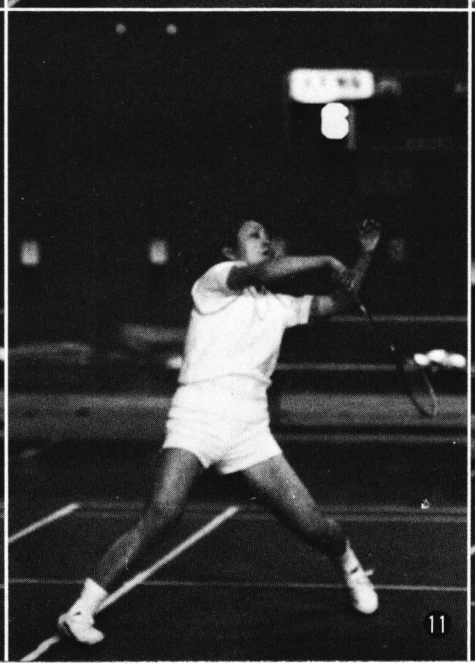
確実に落下点まで行き、打ち終わったあともシャトルから目を放しません。心すべきことです。

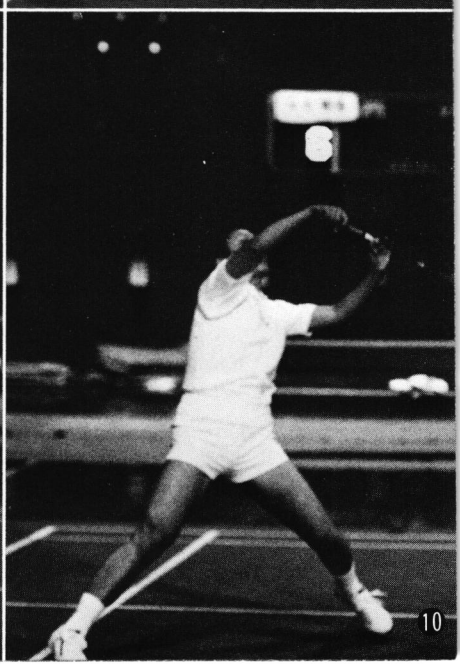


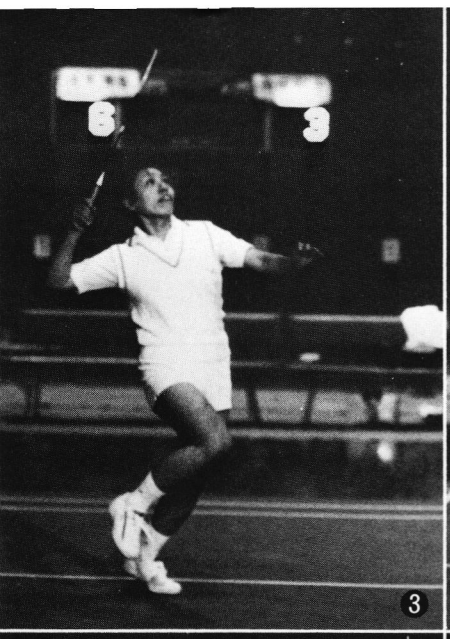




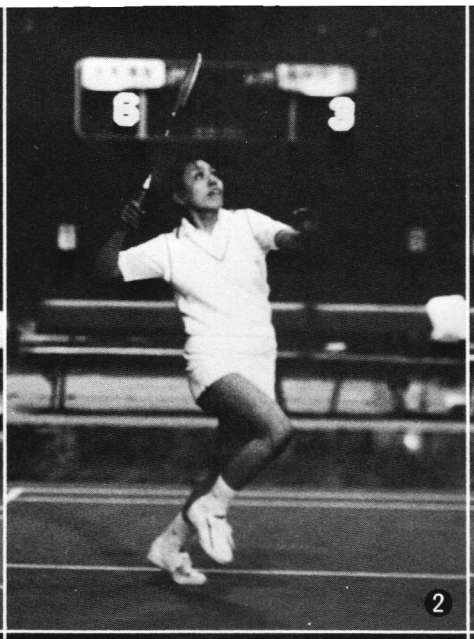




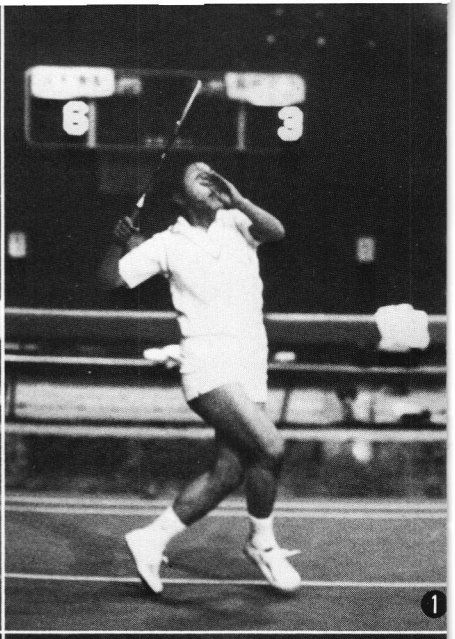




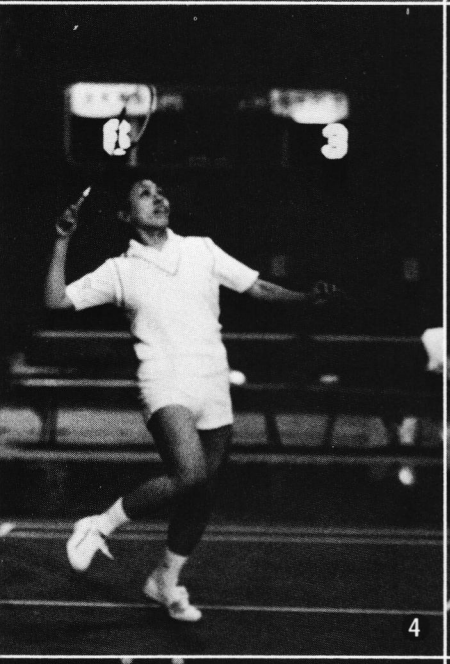
3



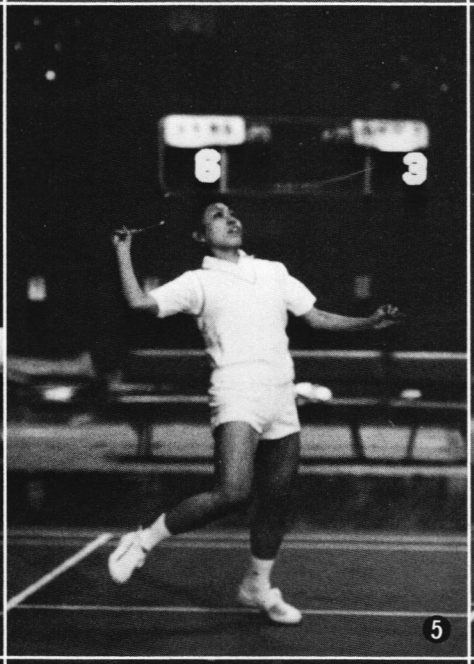
2



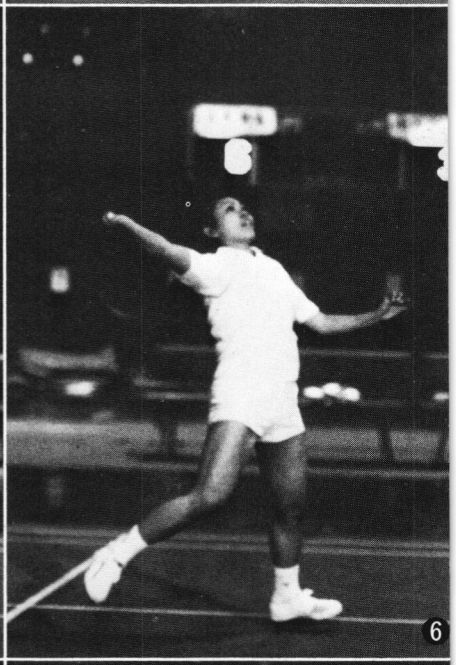
1



4



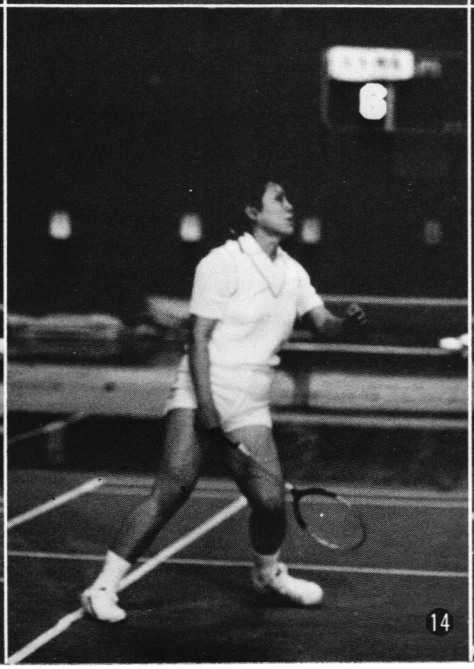
5



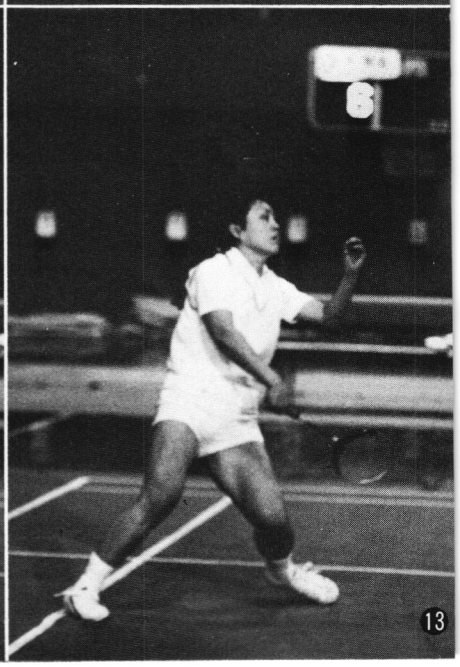
6



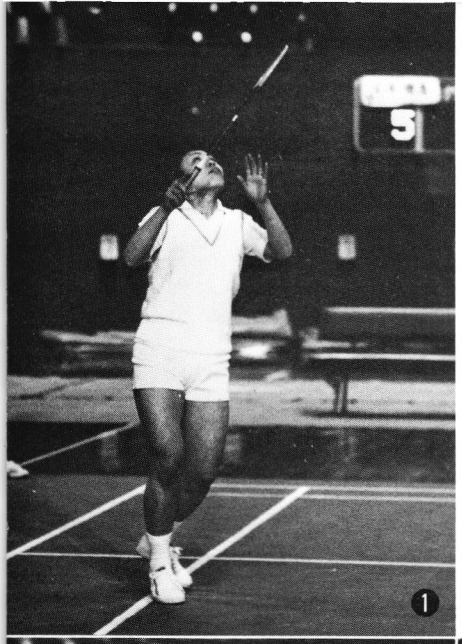
15



14



13



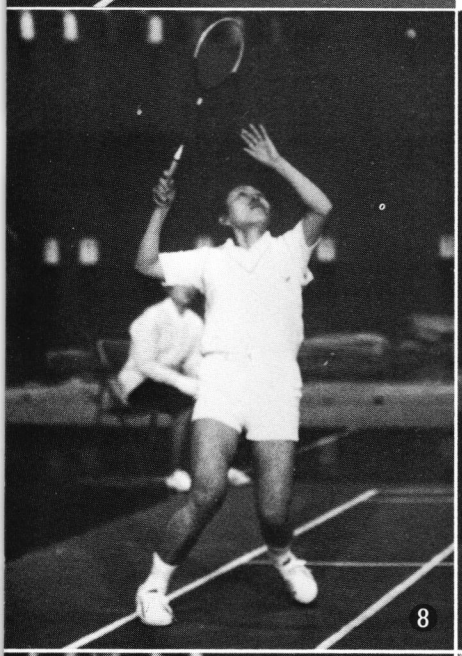
1

② ドロップショット

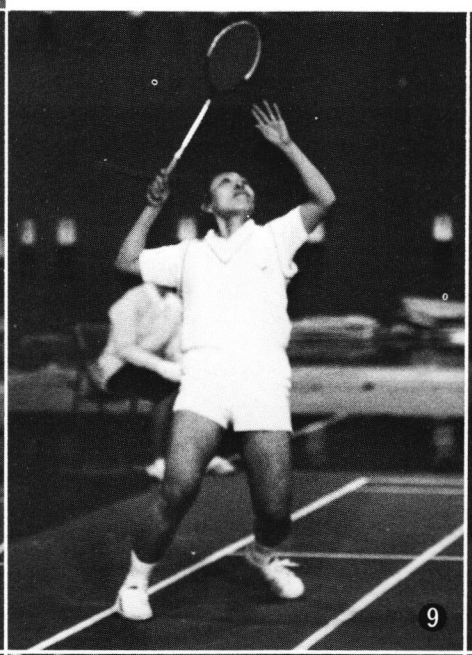
奥深く打ち込まれたクリヤーに対し、十分な余裕をもってドロップショットを打ったところ。この体勢からなら、相手の位置によって、クリヤーでもスマッシュでも返せるところです。

⑭のフォームに注意して下さい。このひじの伸び具合がまさに教科書どおりといったところ。シャトルも正確にとらえているようすがよくわかります。

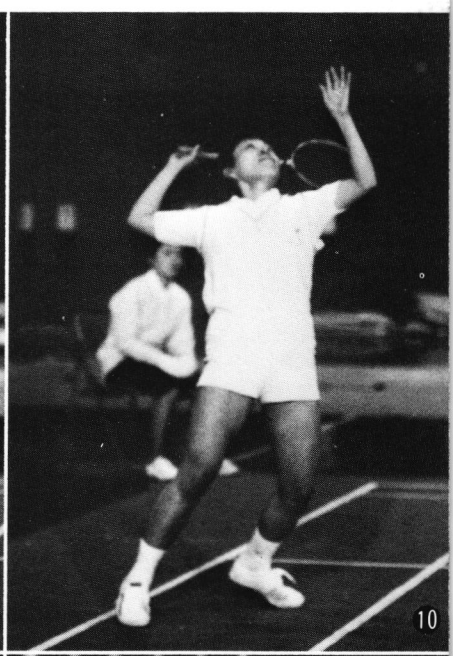
⑮、⑯の手首も参考になると思います。巻き込まずに押し出すようにしているところがポイントでしょう。



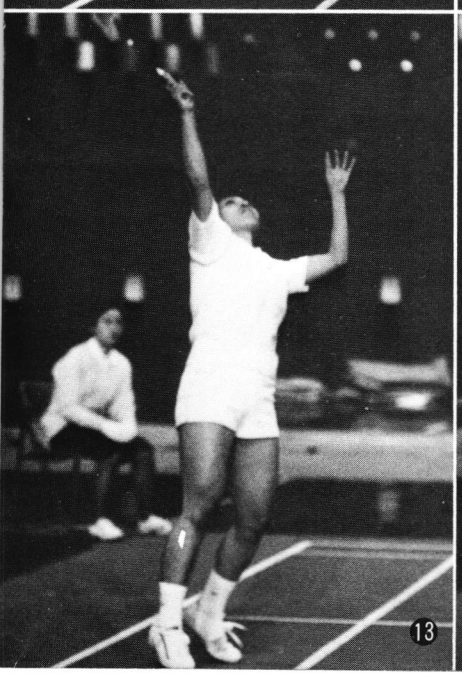
8



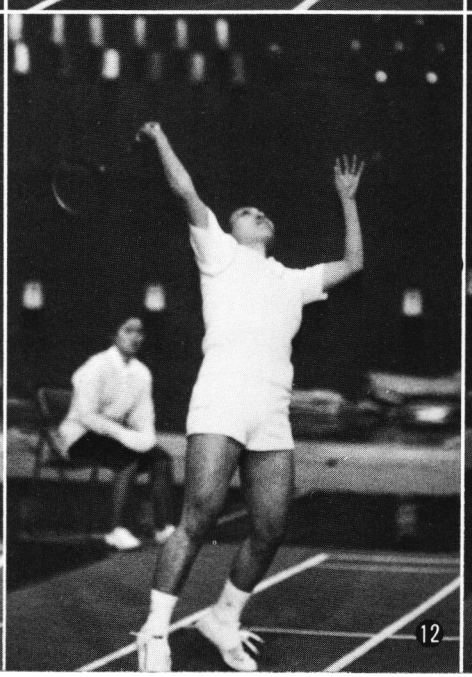
9



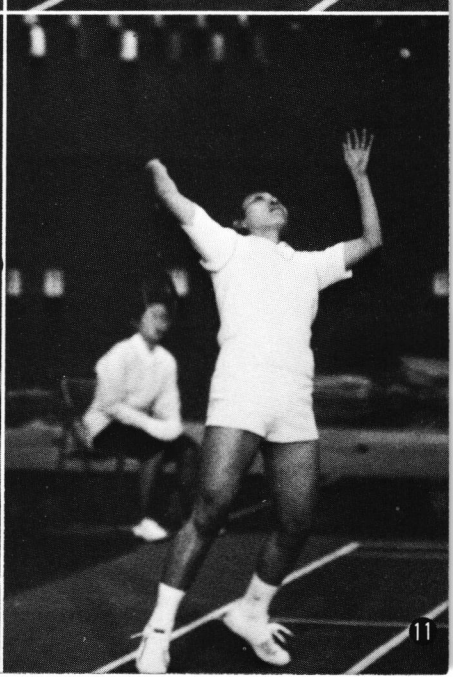
10



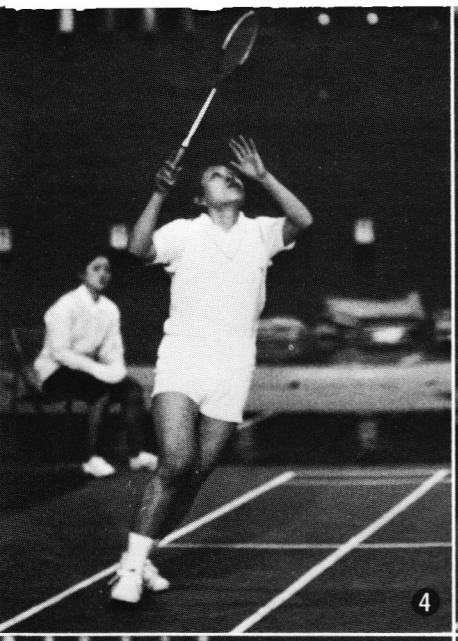
13

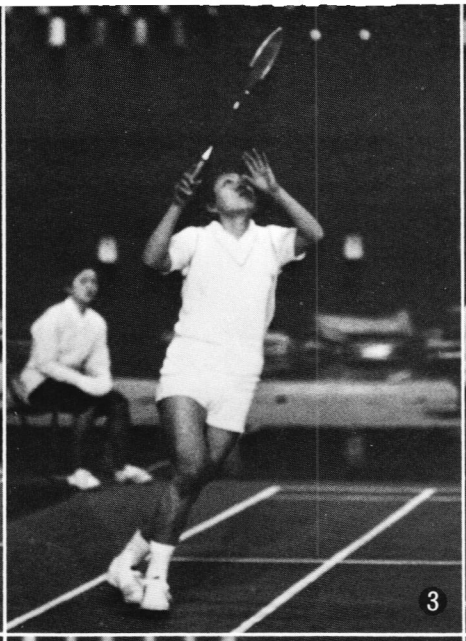


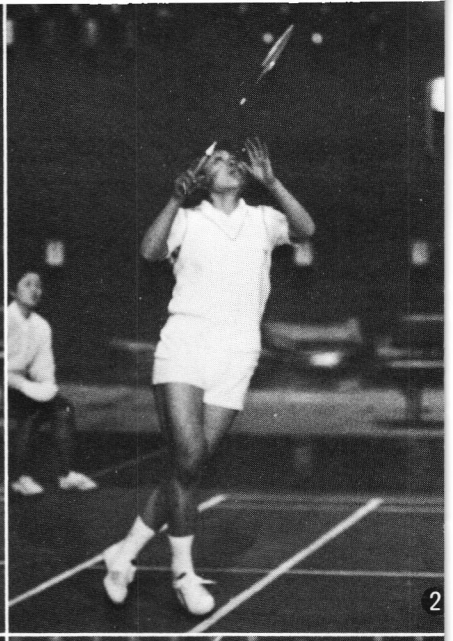
12

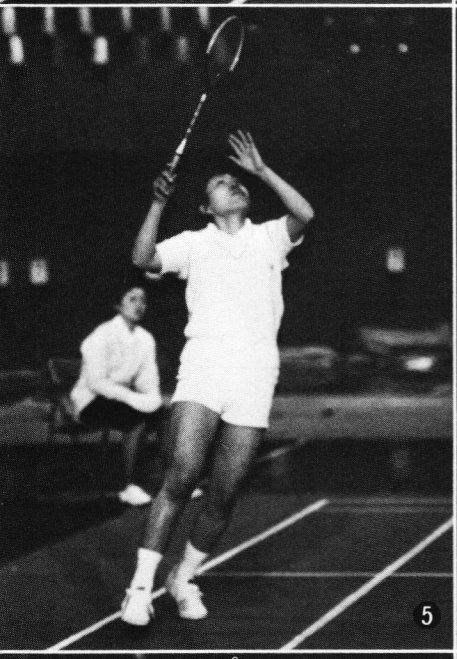


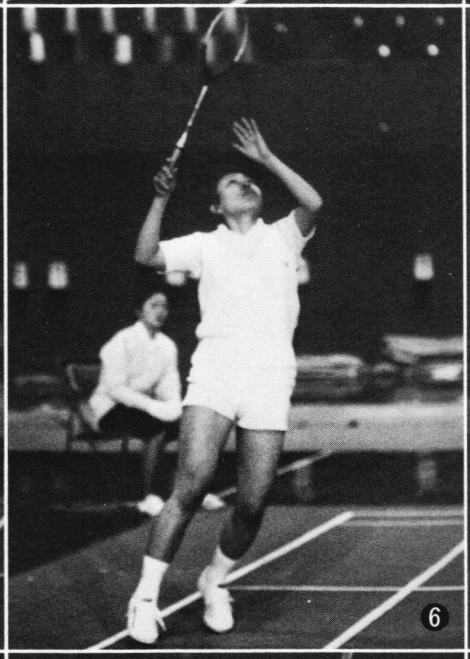
11

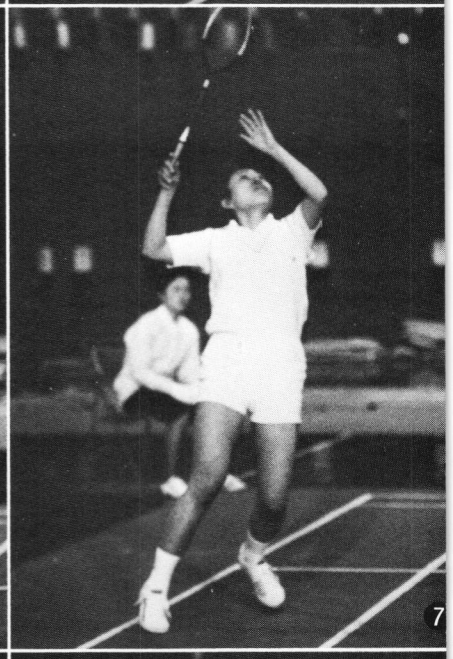

4

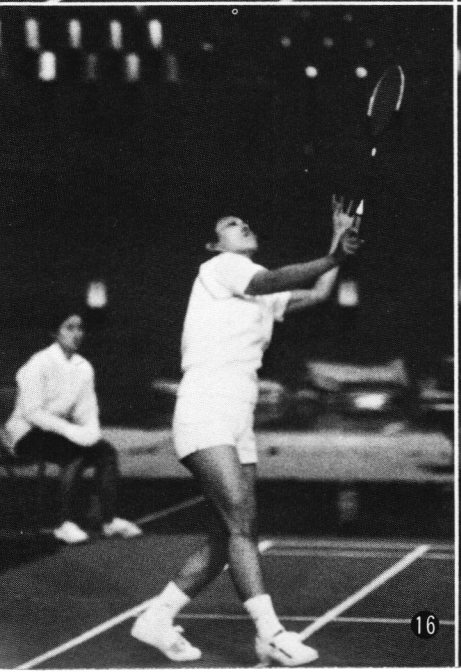

3

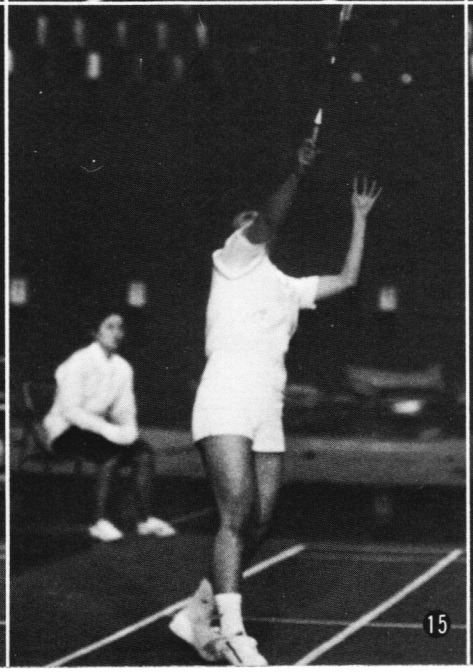

2

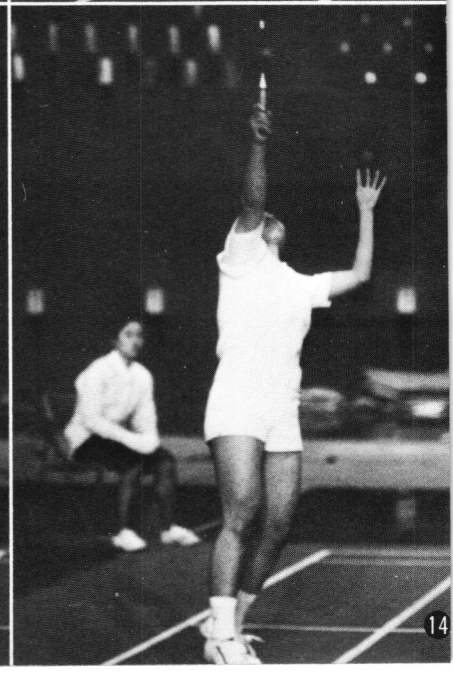

5


6


7

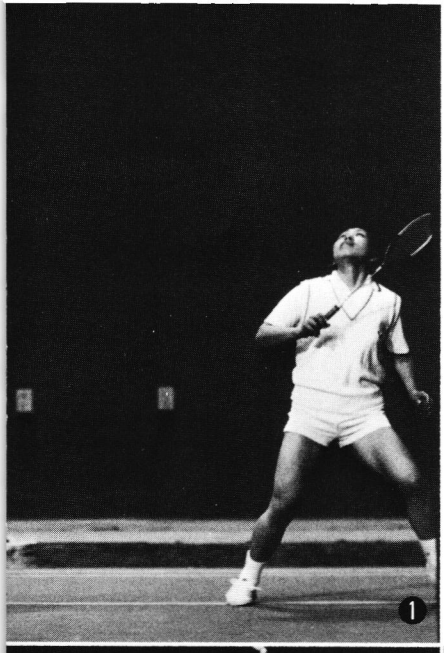

16

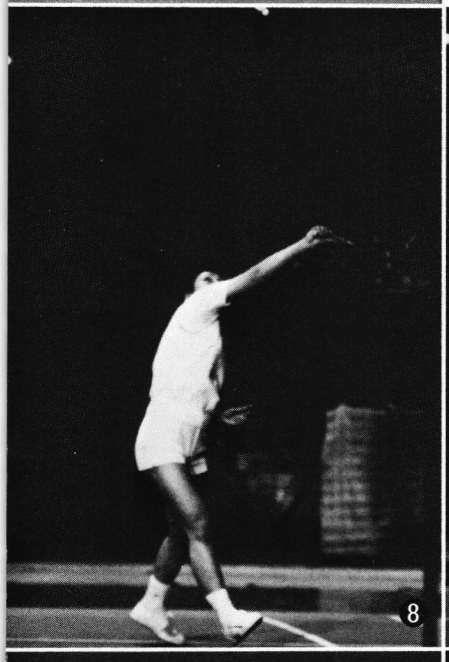

15

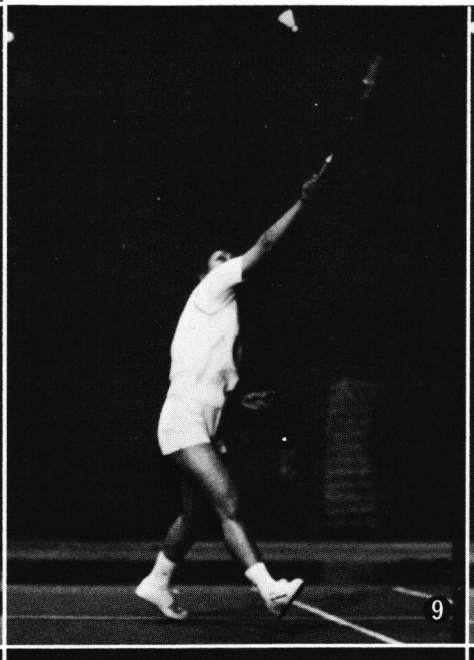

14

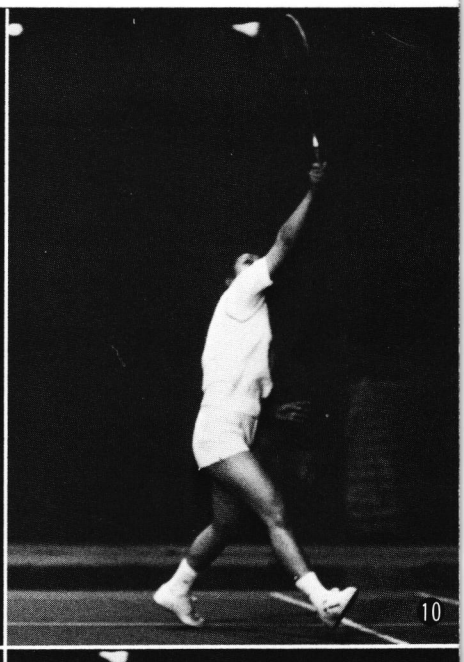
③　バックハンド――その1

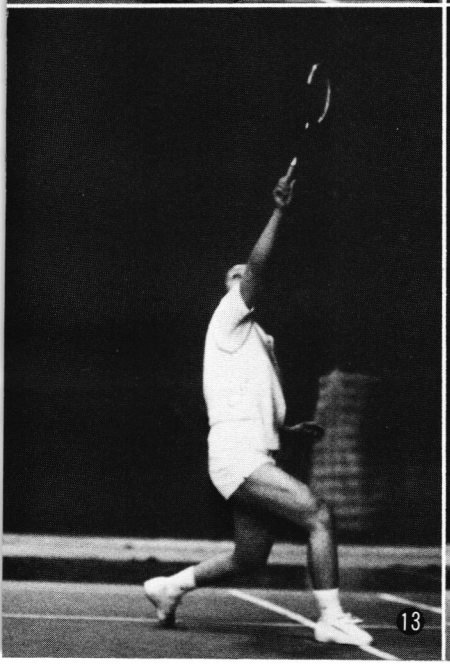
打つ前の体勢からみると、やや高いクリヤーをバックサイドに深く打ち込まれたようです。シャトルを見ながらさがり、十分に呼吸をととのえてリターンしています。この返球ならば、じっくりと体勢をたて直すことができたでしょう。⑨から⑪に至るまでの流れるような手首の返し、そしてシャトルの軌跡に注目して下さい。

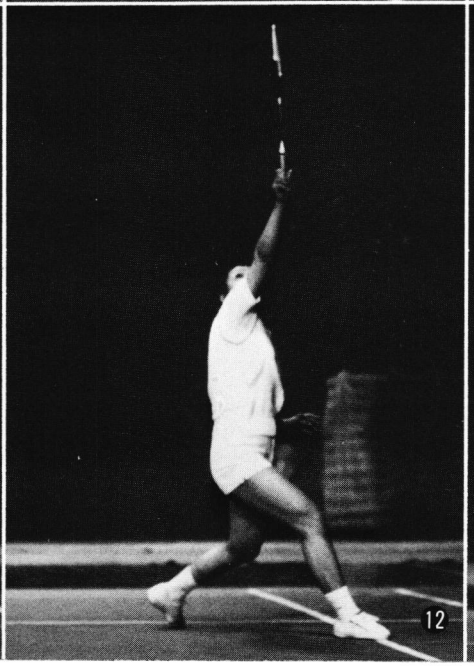


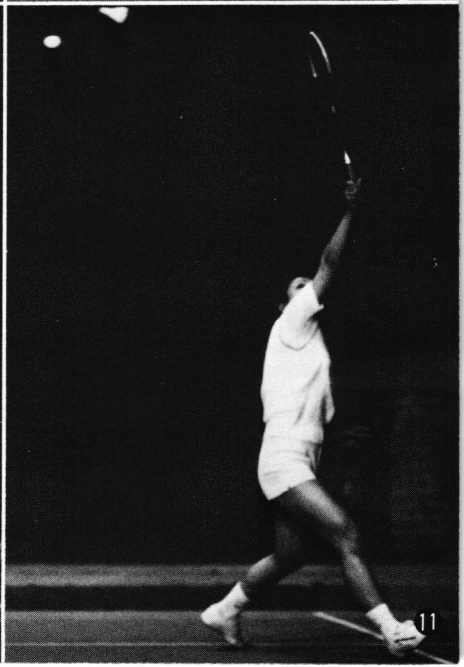


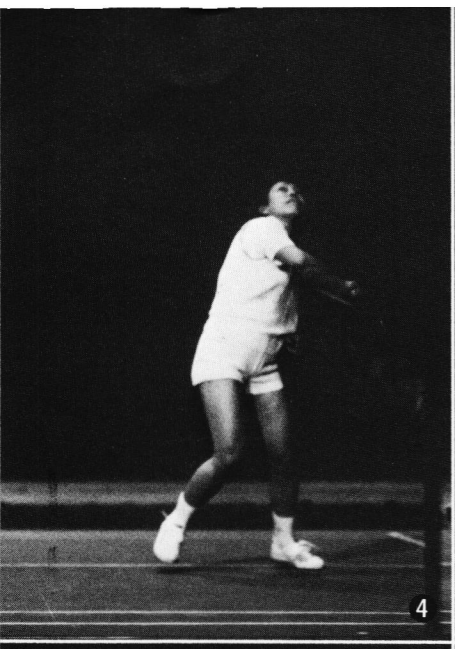


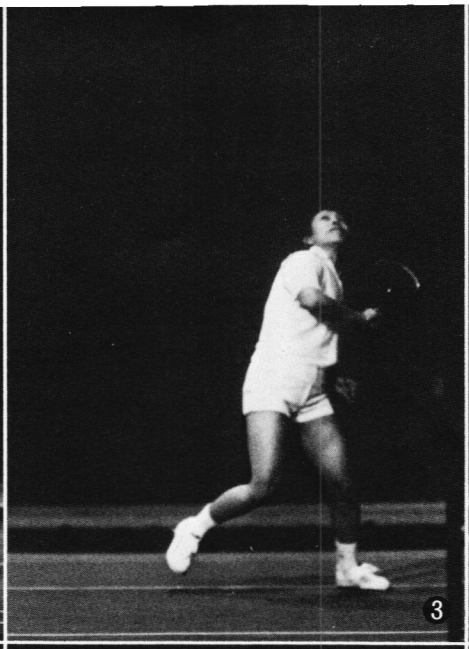


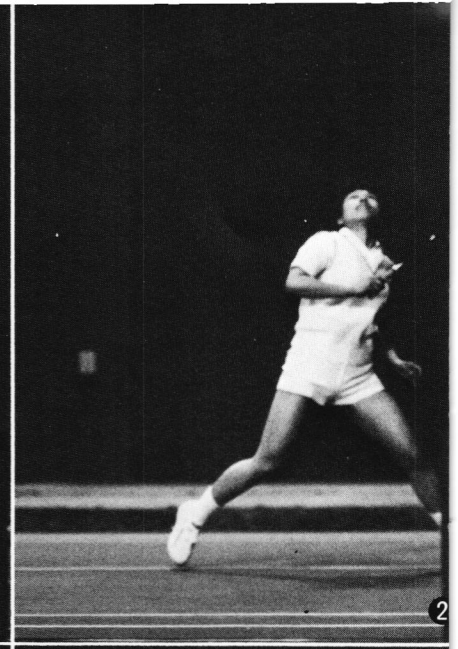


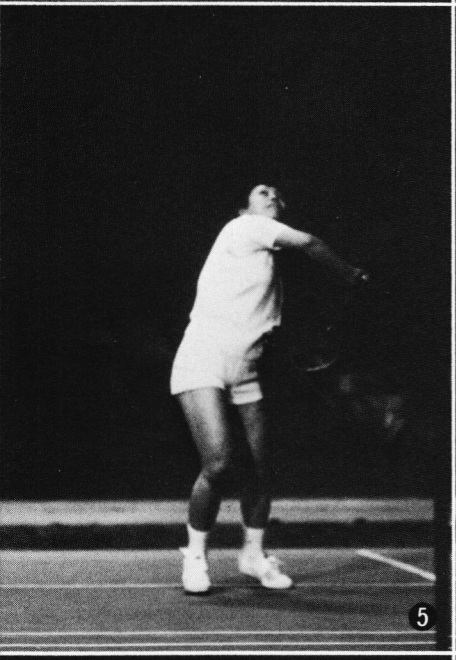


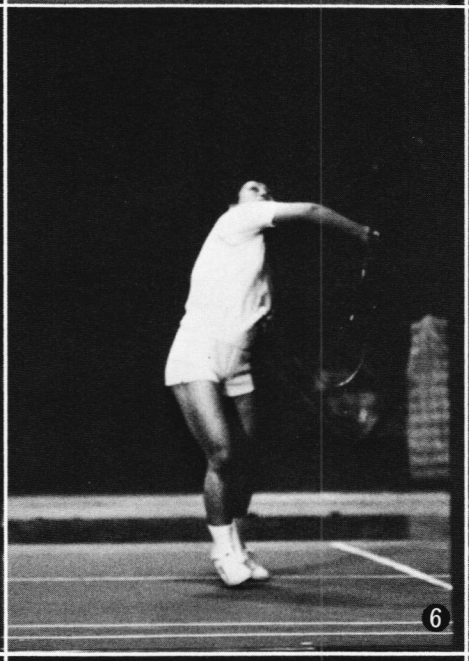


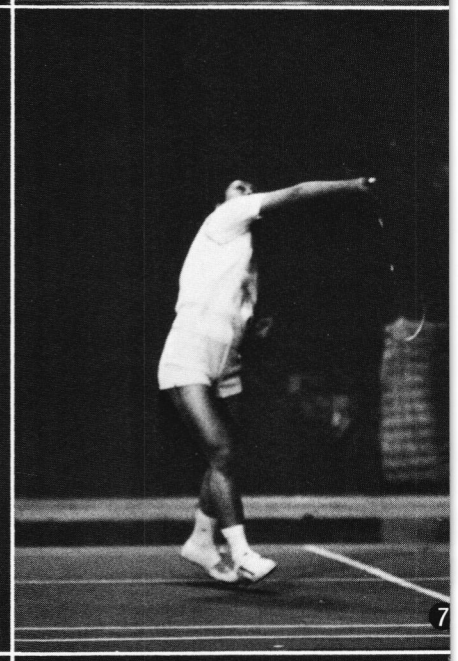

4


3

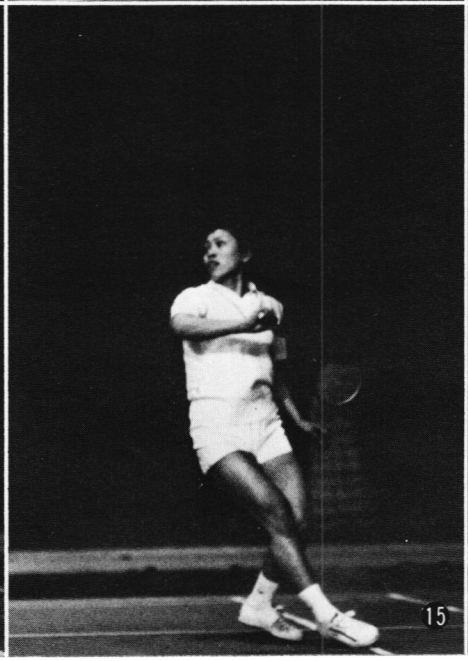

2

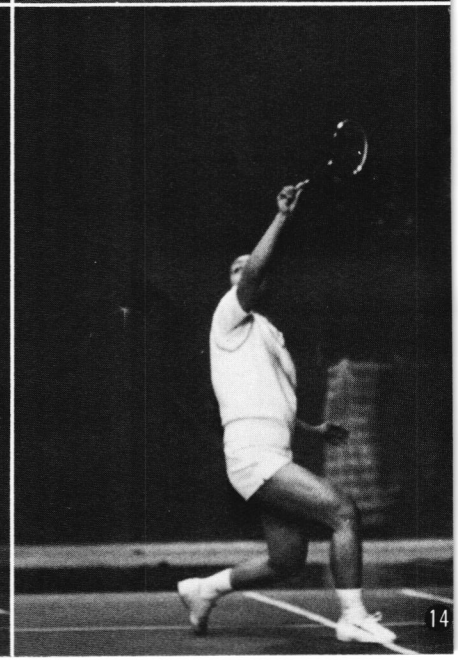

5

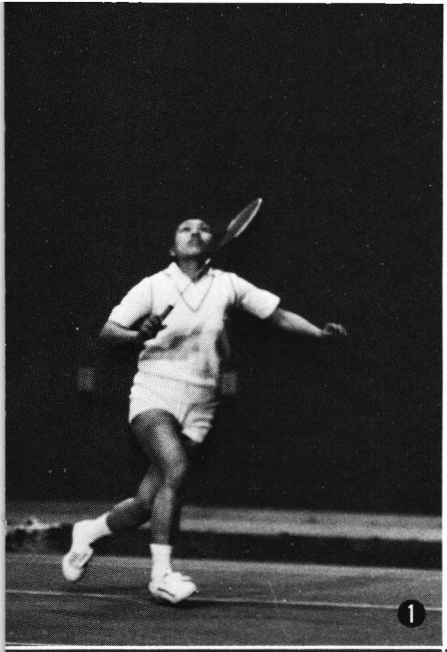

6


7


16

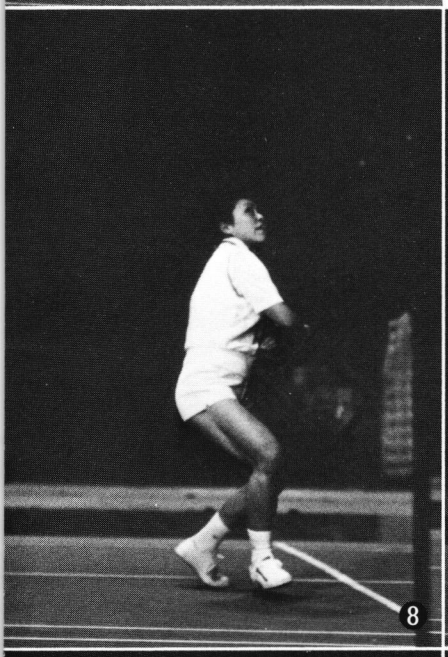

15

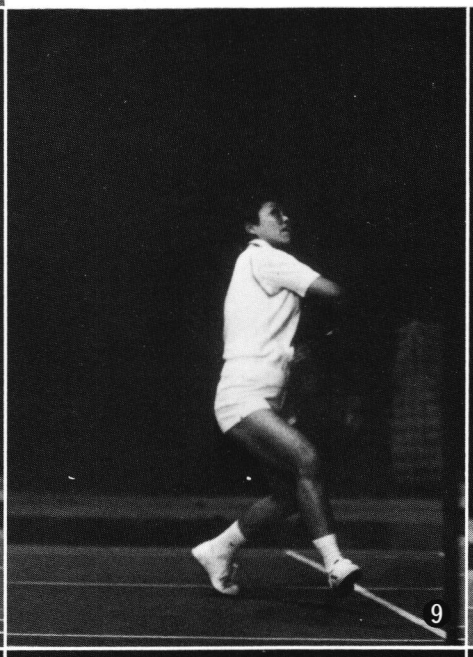

14

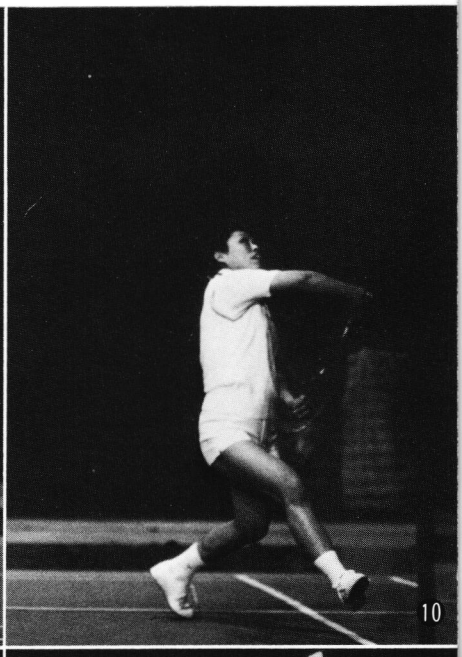


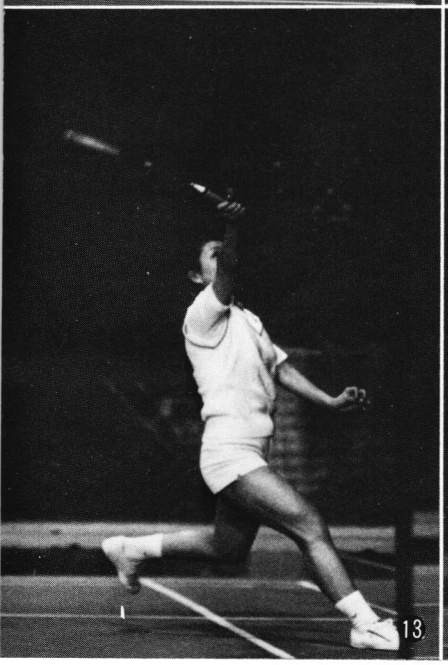
④ バックハンド——その2

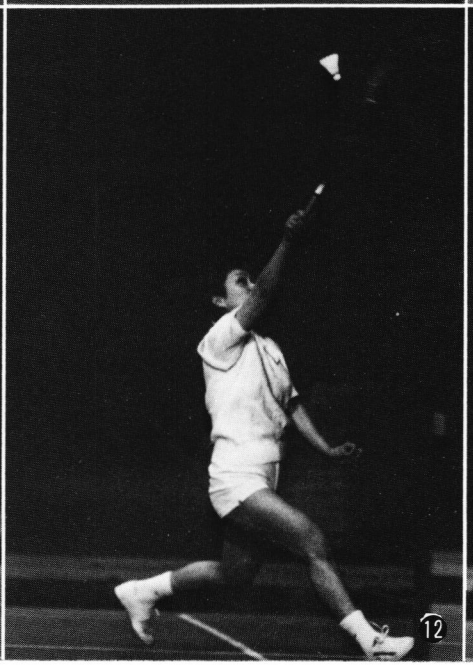
前ページのものにくらべるとやや走らされています。おそらくフォア前に続いてバック奥をつかれたのでしょう。フットワークも大幅になっています。そして右足を大きく踏み出してタイミングをつかんでいます。腕の振りも前ページのものより、スリークォーター気味ですが、やはりひじはきれいに伸び切っており、重心の移動もスムーズになっているのはさすがです。

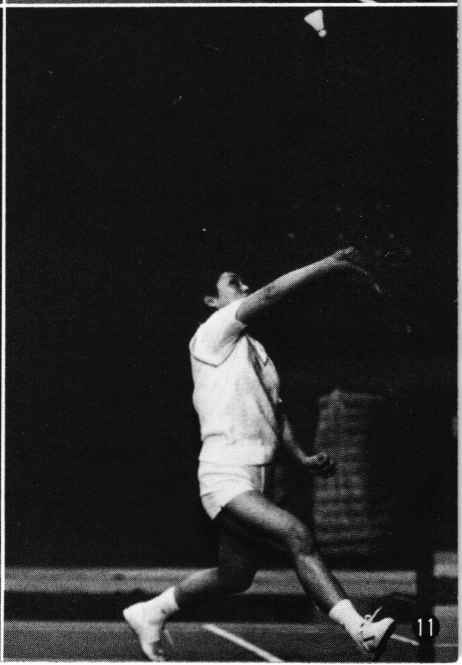


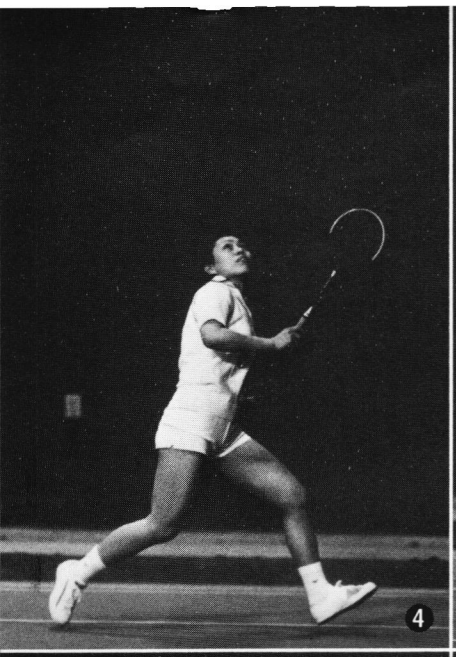


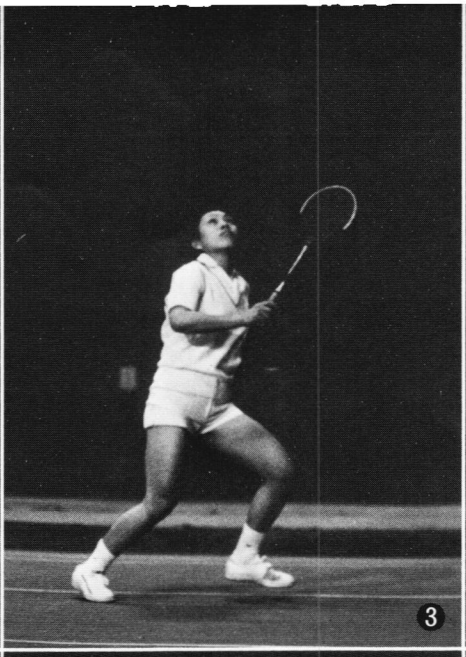


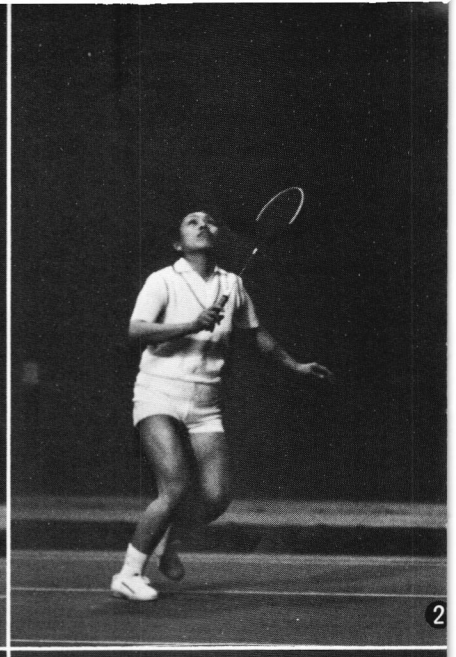


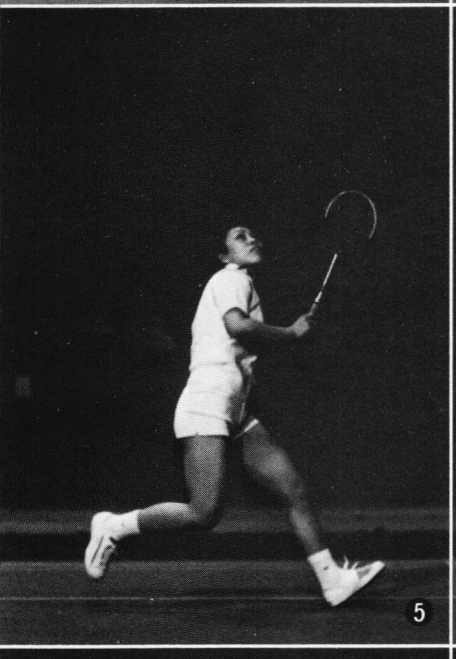


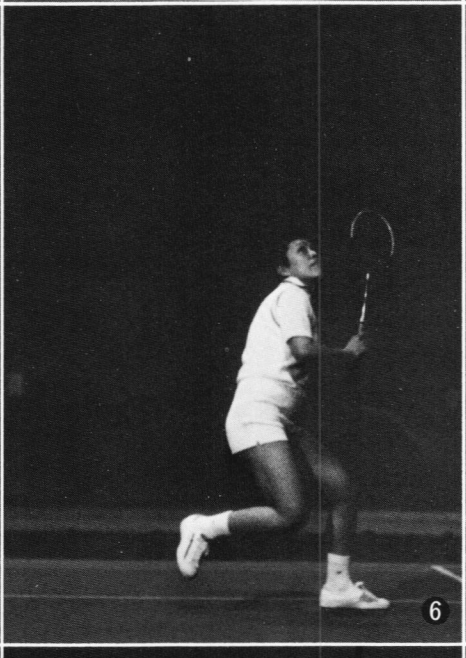


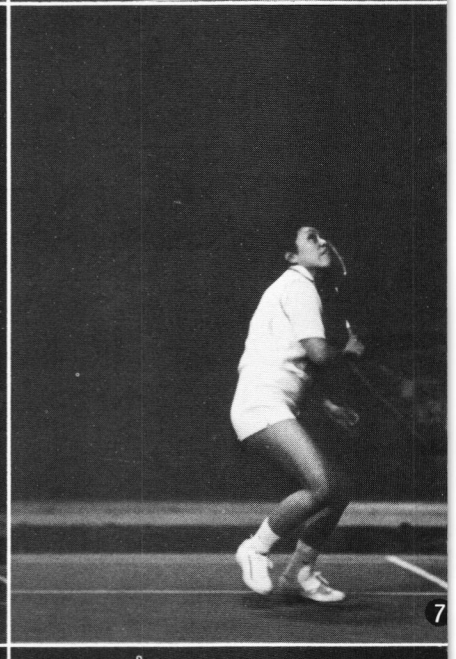

4

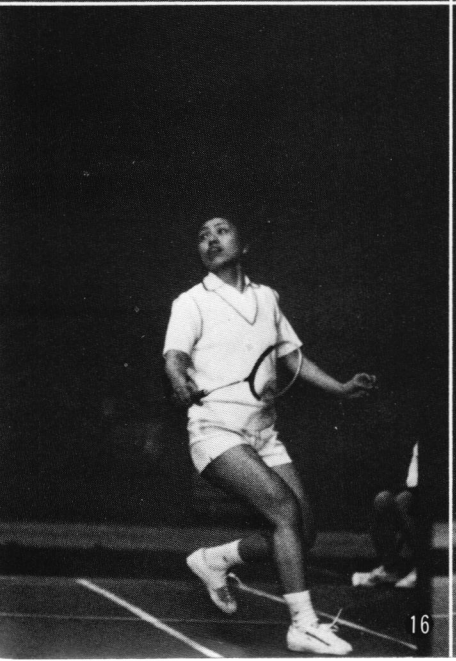

3

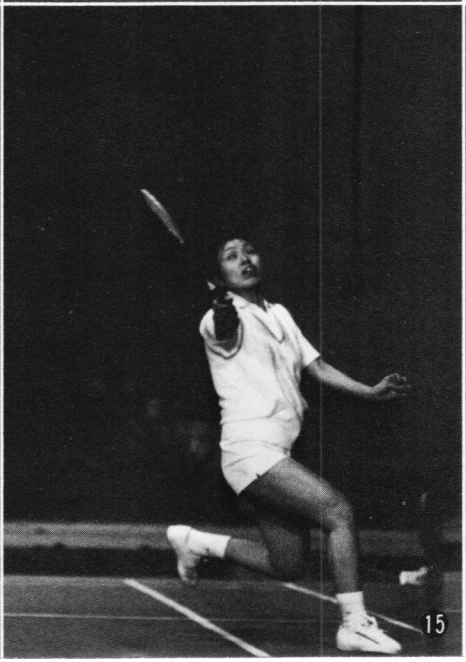

2

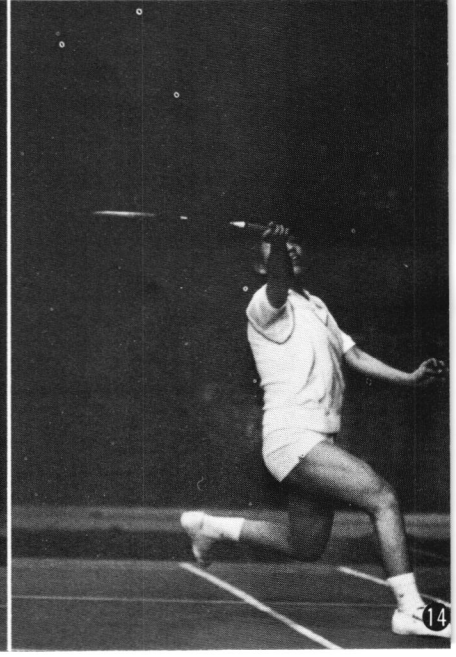

5


6


7


16


15


14



▲優勝を決めてベンチに戻る湯木に若手も尊敬のまなざし
（左から，高田，井上，湯木，徳田）

湯木の貫禄に若手ウットリ



◀この王座を狙う若手の登場が待たれる



SunBatta

BADMINTON RACKET

S-75

Rush

サンバタ

the 7th Ladies' International Badminton Championships for the UBER CUP

第7回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会記録

ユーバー杯奪還への道

A5判 128ページ
カラー写真多数収録
〈代金後払いで申込受付中〉

好評発売中!!

昨年6月に行われた第7回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会において、インドネシアに決勝で敗れてから、間もなく1年が過ぎようとしています。

日本バドミントン協会出版局では、この機会に敗戦の反省と次回奪還への道を探る一助になればと考え、「**ユーバー杯奪還への道**」を刊行いたしました。

本書は、第7回ユーバー杯大会の全記録を収め、関係者の手記、観戦記を中心に、カラー写真を含む多くの写真を収録し、各国選手のフォームやプレーの分析もできるように構成したものです。体裁・内容は次のとおりです。

●**体裁**＝A5判（約21センチ×15センチ）
●**ページ数**＝128ページ、うちカラー16ページ
●**目次**（主なものを抜粋）

☆カラーグラフ
☆一致協力でユーバー杯奪還を
　＝本田弘敏
第Ⅰ部＝大会経過と試合全記録
☆必勝の念で出発
☆波乱を含み準決勝へ
☆捨て身のカナダにとまどう＝中山紀子
☆ベック、接戦の末敗る
☆日本ついにV4ならず
☆ユーバー杯チーム合宿記＝福井正康
☆第7回ユーバー杯大会観戦記および全ストローク、プレー記録＝宮永武司

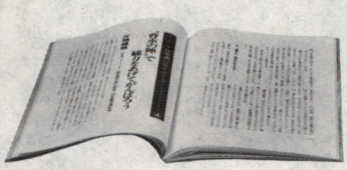
第Ⅱ部＝ユーバー杯奪還対策をさぐる
☆これからの若手育成が肝要＝小宮淳宏
☆選手よ、もっと自分にきびしくあれ＝中山紀子
☆全世界に眼を向けよう＝福井正康
☆〝背水の陣〟で総力をあげてがんばろう＝片岡輝明
☆選手・スタッフに感謝＝小飼栄一
第Ⅲ部＝オフ・ザ・コート
☆忘れられないこの一年間＝中山紀子
☆SAIPON？？？＝福井正康
☆選手団日記

●**定価1000円**

現在、プレーヤーとして第一線で活躍中の人々はもちろん、小中学生や家庭婦人、また指導の立場にある人々にも必ず役に立つものです。

本書をご希望の方は、ハガキに、住所、氏名、申込部数、連絡先電話番号を明記のうえ、左記あてお送りください。当方から発送する際に、代金と送料をご請求いたしますので、現品到着後お近くの郵便局からお振り込みいただければけっこうです。送料は一冊120円、二冊160円といった目安です。

●**申込宛先**＝〒150東京都渋谷区神南一ノ一ノ一・岸記念体育会館・日本バドミントン協会出版局ユ杯係





＝第7回ユーバー杯大会日本チーム監督として＝その1

ユーバー杯防衛へ多難の出発

小飼栄一

ユ杯監督を引き受ける

昭和四十八年の秋、そろそろユーバー杯スタッフを決めなくてはと話題に出はじめた頃、私は即座に第七回大会の監督は中山紀子さんが最適任であると断じていました。理由は第四回大会でユーバー杯を日本にもたらして以来連続参加しており、主将という重責をにないながら常にポイントゲッターとして活躍し、また海外遠征であらゆるタイプの選手を熟知していること、いわゆる豊富なキャリア、卓越した指導力の持ち主なのは皆の認めるところであると信じていたからです。

それが翌年の一月、正月気分でいる私に急に監督をとの話がきたときはまさしく青天の霹靂の言葉どおりの驚きでした。

昭和四十四年八月マニラでの第五回国際学生選手権大会の監督の経験があるとはいえ、ユ杯監督の重責は比較にならないものであり先輩監督のような立派な実績もない私としては再三固辞したのですが、小宮理事長のユ杯の先輩監督として、全面的にバックアップをするとの力強い約束をたよりに引き受ける決心をしたわけです。

不気味なインドネシア

しかしながら、今日の世界の女子バドミントン界の情勢を見ますと、各国の実力は年々平均化され、個々の選手となりますと一年後の状況ではそれぞれがチャンピオンとなれる可能性があり、それがユーバー杯大会においても心理面で作用し、また、第七回大会は日本以外はホームタウンデジションのハンディから解放されるばかりでなく、インドネシアは逆に非常に有利なハンディをもらうことになって、前回の雪辱をも期して千載一遇のチャンスをものにすべく全力で立ち向ってくることが予想されます。

英国は第四回大会で日本に苦汁をなめさせられて以来ホームタウンデジジョンのハンディと日本選手の技術向上のまえに、あえなく敗退を余儀なくされていたのですが、自国の選手層の充実と競技力の向上と日本の競技力の停滞とによって再びチャンスにめぐりあい、そして史上初の四連覇をストップさせるべく、第四回のニュージーランド大会でのお返しをねらい、総力をあげてぶつかってくることが考えられてくるのです。

この最もきびしい対戦相手となる英国のチームメンバーを考える時、ギルクス、ベックの両選手がもっとも油の乗り切った状態で、単・複に使え、プロからボクソール、ウェトナールの両プレーヤーがアマチュアに復帰し、かっての強さはないにしても、円熟した技と掛引きはまだまだ世界のトップとして通用し、若手からもジャイルス等がいるので最も厚味のあるチーム編成がなされてきますと、ヨーロッパゾーンではコーペン、P・ニールセン、I・ニールセン、カガード等のデンマークやビューセコムのオランダ等より一頭地ぬきんでていると思われます。

アメリカ、アジア、オーストラリアからの代表は、一、二のすぐれたプレーヤーがいてもチーム力からみるとこれといった強いチームはなく、英国に次ぐものはホスト国のインドネシアであり、千軍万馬の強者、ミナルニのカムバックによってチームの再建を計り、前述のチャンスをものにすべく準備を始めたのが非常に不気味な存在となってきたわけです。

若手のキャリア不足を痛感

それでは日本のチーム力はとみますと、竹中、相沢の全英大会二連勝の世界一のダブルスがあり、やはり全英大会で単・複の優勝経験をもつ湯木が健在で、さすが選手権保持国の名に恥じない陣営をしているのですが、第一回の日中大会での試合ぶりから見て、いくつかのかげりがみられ、特に竹中・相沢のダブルスには下降現象があらわれていました。

これは全日本総合選手権大会の決勝で湯木・池田組に敗れることによって、なおはっきりしたわけです。

（しかし一方ではこれで使えるダブルスが二組出来たとする安

易な見方をして、ユ杯の防衛に楽観視する人たちもいたのですが）

私は、日中、総合の両大会、とりわけ第一回日中大会では十戦中八戦を観る機会に恵まれ、その中でまず体力、特に持久性のなさにおどろき、脚力のスピード不足、集中力の欠如をみて、ユ杯防衛に一沫の不安をいだかずにはおられませんでした。

加えて若手選手のキャリア不足を痛感したのですが、この時は私がユ杯防衛の直接責任者になるとは思ってもみませんでしたので、中国の底知れぬ強さに恐しさを肌で感じただけでした。

前途多難の出発進行

それが一転して、私が監督に任じられた時、はからずも前述した問題点の解決を自らがしなければならなくなったのです。

これにとうてい私の非力な能力ではこなすことは出来得ないことですので、早速スタッフの選任にとりかかりましたが、かねてから監督にと推薦をしていた中山さんにコーチをお願いしたわけです。中山さんは事の重大さを十分にわきまえており、協力はするが主婦の立場上コーチとして専念出来ない、折々に選手に自分がつちかったものを伝える程度しか時間がとれないので、他に専任コーチを求めてほしいとの強い要望がありました。このことが聞き入れられない場合は名目上のコーチも引き受けることは出来ないとのことなので、小宮理事長に相談し、史上初の四連覇をしなければならない現状から、特に前例のない二名のコーチを認めていただき、早速中山さんと三名の合議の上、第四回ユーバー杯チームのコーチとして初優勝をもたらした福井正康氏にお願いすることになり、本田会長、森友副会長の御賛意を得て、かつ大変御多忙なお二方に貴重な時間をさいて福井氏の勤務先である河崎ラケット工業株式会社の河崎吉太郎社長のところまで訪ねていただき、福井氏のコーチ就任方を要請し、また本人の承諾も得てチームの要が出来たわけで、さてこれで一安心と思うのも束の間、河崎ラケットの社内事情で未決なので正式決定ではないとの連絡を受け前途の多難さを思わせられました。

ようやく福井コーチ確定

それから二週間過ぎてもそのままの状態で、監督としての初仕事となる第64回全英選手権大会（昭和49年）日本選手団々長として遠征する日が明日となった真夜中、いてもたってもいられず河崎ラケット、常務の河崎一幸氏宅を福井氏と私と家内と三人で訪問したのです。非常識な時間であるのにもかかわらず丁重なもてなしを受け、はたまた理解ある処置で福井氏のコーチを承引いただき、心おきなく出発出来ましたことは非常にうれしく、いつまでも忘れることができないことでした。

また、その後も河崎一幸御夫妻には何かとお世話になりましたが、ことさら思い出深くありがたかったのは、ユーバー杯の時、ジャカルタまで応援にきていただき、その上意気消沈の帰路、シンガポールでのディナーパーティでの心暖たまるなぐさめは何にも増して力づけられました。本当にありがとうございました。

3Sの不足が目立つ

余談となりましたが、デーマークオープン、オールイングランド、グラスゴー招待と三つの大会を通じて感じたことは、バドミントンの世界の広さと厚味でした。

今まで私の知っていたバドミントンの世界は日本国内での世界であり、各国とのつながりであり、世界最高の技術水準であったのが、各国のトッププレヤーが一堂に会しての交流は力と力、技と技のぶつかり合いであり、その中で各国協会のバドミントンに取り組む姿がのぞかれ、虚飾のない立場で理解出来る貴重な道場といえるものでした。

こうした経験をしながら日本選手の活躍を見ながら世界での位置づけをすることで、より一層世界のバドミントンを少しでも深く識ることを念じ、またこの機会に湯木、竹中、相沢、池田の直接ユーバー杯に関係すると思われる現在日本の第一人者たちと理解し合えることがチームのスタートを早めることになるのではないかと出来るだけ近づく努力をしたのですが、選手たちは自分の試合に取り組むことに精一杯で、チームのことまで考える余裕がなく、私の一方通行となったのは残念でした。

同時に反面大きな発見でもあり、貴重な体験ともなりました。それよりもショックだったのは竹中・相沢組の敗退であり、その原因の大半がスタミナ、スピード、パワーの不足によるものですが何よりも自覚がないことでした。湯木の優勝も磐石の強さにはいま一歩の感がありましたが、一つでも優勝杯を持ち帰ることの喜びが上でした。

第一次合宿にはいる

帰国後、早速候補選手の選考をし、第一次の合宿を札幌の北大トレーニングセンターで行った。この合宿の目的は選手個々の基礎体力の測定によって表われた教値から、現状の競技力を推測し、実力向上の一つの手段とすることが客観的に出来ると判断したからであります。

この結果の詳細は省略しますが総括として、この測定に当って下さった元北大教授、奈良岡健二氏（北海道バドミントン協会副会長）の評価がありますので紹介致します。

「バドミントンの適性である反応速度、運動神経の働きは平均71点ですぐれているとみてよく、持久性は専門適性として重要で、スピード持久性はややすぐれているものの全身持久性（回復能力）は湯木を除けば全員不合格で全く劣弱と指摘しないわけにはいかない。

筋力ではすぐれた腕力、脚力が望まれるところであるが結果は利腕はまあまあの程度としても、左腕が均衡がとれないくらい弱い、この弱点は他の長所をも消す恐れがある。脚力、腕力とも左右均衡な能力を供えることが全体をプラスすることに通ずる。

柔軟性、協調性の測定では優れた能力を示したものは見当たらなかった。プレーの円滑さ、

正確さに通ずる適性としてもっと尊重して良いと思う。

全般的にオールラウンドの体力を備えた選手が一人も見当たらなかった。

平均点の最高点者でも、欠点や短所をもっていた反面、どの選手もすぐれた適性をもっており、その長所を手がかりとして欠点、弱点、短所を強化し、大成を期すべきであろう」。

札幌での合宿では次の方々に大変御世話になり、お陰で大変参考になる資料を得ることが出来ました。ありがとうございました。

北海道大学助教授　寄金義紀
〃　〃　中川功哉
室蘭工業大学助教授小成英寿
苫小牧工専助教授　片山普次
札幌西高校教諭　吉沢信次
北海道バドミントン協会
札幌バドミントン協会

山本マネジャー確定

第一次合宿を終了後、チームとしてマネジャーが必要となり、人選を進めていたのですが、中山コーチから前ネパールナショナルチームコーチで慶応大学OBの山本次生氏が海外青年協力隊に現在勤務をしており、本人は協力の意あるとの推薦を受け、まず本人とあい人柄の良さと卓越した語学に魅せられて、早速お手伝いを願うことにしました。

第二次合宿から一切を安心してまかすことが出来て、一時はユーバー杯終了まで東京住いを覚悟していたのですが、札幌半分、東京半分ですんだのは全く彼のお陰で、もし山本君がいなければ私は途中でダウンをしていたことでしょう。

そんなことより彼のやさしさと明るい人柄が、その後のチームの和にどれだけプラスとなったか計り知れないものがあります。

第二次合宿以降については福井コーチ、または山本マネジャーからの報告があると思うので割愛致します。

中国遠征、アジア大会で苦杯

七月の中国遠征はユーバー杯チームのチーム力よりも個々のコンディションを中心に選考し、遠征時の実力を見ることを主眼としました。

全体的な評価としては若手のキャリア不足を見せつけられ、四月の札幌での測定の数値を裏付けることになったのですが、中国ではユーバー杯の当面のライバルではなく、また国家によって養成されている選手を相手としているのだという甘い認識が根底にあったためもあり、役員、選手に反省し研究する態度にきびしさが欠けていたのではないかと思われてなりません。

九月のテヘランでのアジア大会がユーバー杯チームとして初の海外試合であり、日本の最も強敵の一つであるインドネシアがベストメンバーで参加し、日本と準決勝で対戦するので是非観戦したかったのですが、種々の都合で行けなくなりましたが、福井コーチが参加しているのでその報告をまつことにしました。

しかし、インドネシアにはよもや敗れることはないと信じていたので、非常なショックを受けました。そしてそのインドネシアチームが決勝で中国と対戦し、複で二勝したことは二重のショックでした。

以前からダブルスの組替えを考えていた私でしたので、合宿や中国遠征で試みてはいたのですが、アジア大会、国際招待大会と参加する日程が決っており、やはりレギュラーパートナーによる練習に重点がいっていたのですが、この時点でやっと組替えを真剣にとりあげよう、そして断行しようとしたのです。それにはコーチ陣との話合い、選手との話合い、時期等と具体的な計画をたて始めたのです。

そして時期だけは総合選手権大会終了後として、それまでに選手たちにチームとしての方針を納得してもらうことにしたのです。

持久性の必要性再認識

このことを腹に納めて10月の第2回国際招待大会に上原監督の好意ある処置でジャカルタにのり込みました。

目的はジャカルタでのコートコンディション、食糧事情、気候、ホテル等の事前調査は少々で大半はインドネシアのダブルスの研究にあったのはいうまでもありません。

特にお目当はミナルニ・レジナ組でアジア大会では日本の二組が団体戦と個人戦でそれぞれ敗れているからです。

一回戦で早くも竹中・相沢組との対戦が組まれているのは、日本のNO1の実力を徹底的に知るために必ず対戦出来、そして元気の良いうちに全力でぶつかろうという作戦できたのではないかと推測したわけです。

ゲームが開始され一ゲーム順調にポイントを重ね15－5でとり、第二ゲームにはいり依然として好調にリードしていたのが、8ポイントをとってから極端にスピードが落ち動きも鈍くなってきて点差をつめられ10ポイントで逆転され、そのまま10－15でゲーム終了、第三ゲームは前半せるも後半は全く成すすべもなく押しまくられてしまい7－15で試合終了となりました。

このゲーム展開は、アジア大会の時と同じで敗因は暑さと風とシャトルコックの悪さが、国内での時より体力の消耗を増進させていると思われますが、これに対する処法は持久性、特に全身持久性をつけなければ精神的にもバテがきて、つまらないミスを続出することになるので、よりいっそうの持久性のトレーニングを自覚のうえ続けることよりないでありましょう。

本稿は別冊「**ユーバー杯奪還への道**」のために小飼栄一監督が執筆したものですが、同書のスペースの都合で本誌に収録することとなりました。「ユーバー杯奪還への道」も併せてお読みいただきますようお願いいたします。

（編集部）

昭和５１年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

日本バドミントン協会
用具委員会　（単位　円）

銘柄名		価格	会社名
検定合格			
シャトル・水鳥の部			
エリートデラックス	1打	3,900	河崎ラケット工業㈱
エリートトップ	1打	3,400	〃
エリートエース	1打	3,100	〃
№200 ゴールド	1打	3,200	㈱ゴーセン
№205 シルバー	1打	2,900	〃
ファーストゴールド	1打	3,100	有限会社 ジャワ商会
ファーストシルバー	1打	2,800	〃
ファーストグリーン	1打	2,400	〃
トーナメントホワイト	1打	3,500	㈱トヨダスポーツ
トーナメントブルー	1打	3,200	〃
トーナメントブラック	1打	2,900	〃
水鳥ビクトリー	1ケ	300	羽立工業㈱
スペシャル	1打	3,600	㈱ベータシステム
エース	1打	3,200	〃
サンバタスター	1打	3,900	㈱諸江製作所
サンバタキング	1打	3,400	〃
サンバタクィーン	1打	3,100	〃
トーナメント・デラックス	1打	3,900	ヨネックス・スポーツ㈱
トーナメント	1打	3,400	〃
オフィシャル	1打	3,100	〃
シャトル・陸鳥の部			
ファースト	1打	1,800	有限会社 ジャワ商会
サンバタ	1打	1,900	㈱諸江製作所
トレーニング検定球	1打	1,900	ヨネックス・スポーツ㈱
ネットの部			
ナイロンA（ナイロンラッセル１５本）		4,800	鐘屋産業㈱
ナイロンB（ナイロン１２本）		4,300	〃
GTO #70-2112		4,500	㈱ジィティオ
GTO #70-3115		4,300	〃
GTO #70-3015		3,900	〃
ナイロンラッセル１２本		4,400	ティエヌネット㈱
ナイロン１２本		3,800	〃
KT-518		4,400	㈱寺西喜商店
倉敷ビニロン　２０／１２本		3,800	松本製網㈱
№481 STRバドミントンネット		4,800	ミセキネット製作所
№50 VA		4,400	〃
№52 Aバドミントンネット		3,800	〃
ポストの部			
バドミントン支柱T座式		18,000	㈱小川長春館
バドミントン支柱ホール式		11,000	〃

銘柄名		価格	会社名
№2500 キングアロー		3,200	㈱諸江製作所
№2000 キングクリッパー		2,700	〃
№900 スナップ		2,400	〃
№1000 シルバーデラックス		2,300	〃
№8 ダンディ		1,900	〃
№7 ティピカル		1,500	〃
B8100 ブラッキー		5,500	ヨネックス・スポーツ㈱
B9100 スリムステンレス		5,300	〃
B8000 アルミナハイパワー		5,000	〃
B7000 アルミナエース		5,000	〃
B9000 ハイステンレス		4,800	〃
B6000 ファイブエースデラックス		4,500	〃
B6500 トップエース		4,300	〃
B5000 ファイブエース		4,000	〃
B4000 カレッジエイトデラックス		3,800	〃
B3000 カレッジエイト		3,200	〃
B2000 キングダイヤ		2,600	〃
B 900 スリーエース		2,400	〃
B1000 クインハート		2,300	〃
B 800 スリーエイト		2,000	〃
B 700 ラッキーセブン		1,600	〃
ウエアの部			
ワンピース	（リース）	4,900	河崎ラケット工業㈱
ショートパンツ	（T.T.T）	3,700	〃
ショートパンツ	（DE'FI）	3,600	〃
半袖シャツ	（DE'FI）	3,500	〃
スコート	（DE'FI）	3,300	〃
ショートパンツ	（DE'FI）	2,700	〃
フレアースコート	（リース）	2,600	〃
半袖V衿シャツ	（リース）	2,500	〃
半袖シャツ	（DE'FI）	2,400	〃
長袖シャツ	（リース）	2,300	〃
半袖イタリアンネックシャツ	（リース）	2,300	〃
半袖シャツ	（DE'FI）	2,200	〃
№508 半袖シャツ	（リース）	2,200	〃
№501 半袖シャツ	（リース）	2,200	〃
スリーブレスシャツ	（リース）	2,100	〃
プリーツスコート	（リース）	2,100	〃
スリーブレスシャツ	（リース）	2,000	〃
406 ショートパンツ	(W90～100)	2,750	㈱ゴーセン
〃	(W68～ 85)	2,600	〃
407 ショートパンツ	(W90～100)	2,750	〃
〃	(W68～ 85)	2,600	〃
N427 巻スカート	（ライン入り）	2,500	〃

DG20 バドミントン支柱（移動型）	26,000	セノー㈱	
DG10 バドミントン支柱	13,500	〃	
バドミントンポスト	10,000	㈱都村製作所	
バドミントンポスト（T字型）	10,000	〃	
T座式スチールポール	22,000	ヨネックス・スポーツ㈱	
ラインテープの部			
カワサキラインテープ	2,000	河崎ラケット工業㈱	
赤Mラインテープ	1,800	昭和ゴム㈱	
シムレスラインテープ 40㎜	2,000	タチカラ㈱	
コートテープ	2,300	ヨネックス・スポーツ㈱	
審査合格			
合成シャトルの部			
ナイロン球カワサキリーブ 1打	2,800	河崎ラケット工業㈱	
インターナショナルハネエース 1ケ	200	羽立工業㈱	
ニュートーナメント 1打	3,300	メトロレジャー㈱	
インターナショナル 1打	2,600	〃	
ナッシュ 1個	200	㈱諸江製作所	
メイビススタンダード 1打	2,700	ヨネックス・スポーツ㈱	
メイビス 1打	2,400	〃	
ラケットの部・			
エリート（選手用）	5,000	河崎ラケット工業㈱	
オールマン（〃）	4,500	〃	
ブルーリース（〃）	4,000	〃	
スタミナデラックス（〃）	3,500	〃	
スタミナ（〃）	3,000	〃	
ウイニングコース（〃）	3,000	〃	
ファインストローク（初級用）	2,500	〃	
エバーウィン（〃）	2,100	〃	
ハードショット（〃）	1,800	〃	
NO.B 60 スワニー（選手用）	4,500	㈱ゴーセン	
NO.B 55 エクセレント（〃）	4,200	〃	
NO.B 45 ハイ・トーマス（〃）	4,000	〃	
NO.B 40 フイアレス（〃）	3,500	〃	
NO.B 35 コスモス（〃）	3,500	〃	
ニューブラック	2,800	㈱トヨダスポーツ	
ニューミニ	2,300	〃	
ウィンナー	1,800	〃	
シルバー	1,300	〃	
シルバーホークNS-5000（選手用）	4,000	㈱西山製作所	
シルバーホークBX-4000（〃）	3,800	〃	
カアルトン 3.7X（〃）	7,900	メトロレジャー㈱	
カアルトン 3.7（〃）	7,900	〃	
キャリー 7S（〃）	4,900	〃	
キャリー 7G（〃）	3,900	〃	
S-74 オールアタック	5,500	㈱諸江製作所	
S-75 ラッシュ	5,000	〃	
S-73	4,500	〃	
㈱3500 キングメイト	4,500	〃	
㈱3000 ゴールドキング	4,000	〃	

402 ショートパンツ（W90~100）	2,250	〃	
〃（W68~ 85）	2,100	〃	
423 プリーツスカート	2,200	〃	
373 半袖シャツ（女子用）	2,200	〃	
372 半袖シャツ（男子用）	2,200	〃	
172 セーター	5,600	ヨネックス・スポーツ㈱	
212 ワンピース	5,500	〃	
214 ワンピース	5,500	〃	
176 ベスト	4,500	〃	
143 男子エリカラーシャツ（長袖）	3,500	〃	
144 男子エリカラーシャツ（半袖）	3,300	〃	
820 ショートパンツ	3,300	〃	
244 女子エリカラーシャツ	3,200	〃	
120 ショートパンツ	3,000	〃	
921 女子ショートパンツ	2,800	〃	
200 巻きスコート	2,800	〃	
920 女子ショートパンツ	2,600	〃	
121 ショートパンツ	2,500	〃	
242 女子ライン入りシャツ	2,300	〃	
142 男子ライン入りシャツ	2,300	〃	
122 ショートパンツ	2,300	〃	
241 女子シャツ	2,200	〃	
141 男子シャツ	2,200	〃	
202 プリーツスカート	2,200	〃	
201 フレアスカート	2,000	〃	
シューズの部			
カワサキオリジナルシューズ	2,600	河崎ラケット工業㈱	
バドミントンシューズ（レッド）	2,600	ヨネックス・スポーツ㈱	
〃（グリーン）	2,600	〃	
ストリングスの部			
コンカー	400	河崎ラケット工業㈱	
ロンシープ	300	〃	
アカツキナイロン	200	〃	
ウィンテックス	700	㈱ゴーセン	
ハイオーシープ（青スパイラル）	500	〃	
〃（アンバー）	500	〃	
ハイシープデラックス（青スパイラル）	400	〃	
〃（赤スパイラル）	400	〃	
ハイシープ	350	〃	
LEOINA SHEEP 66	500	東亜合繊㈱	
HORN SHEEP DX	400	〃	
HORN SHEEP	350	〃	
SANY-SHEEP SSW	300	〃	
SP SHEEP	300	〃	
TOA GUT	200	〃	
ヨネックスシープ DX	400	ヨネックス・スポーツ㈱	
ヨネックスシープ	350	〃	

＜諸般の事情により，予告なく価格が変更される場合がありますが，あらかじめご了承ください＞

'76関東大学バドミントン春季リーグ戦（男・女1，2部）

大　会　案　内

本年3月ＡＢＣ大会に日本代表として男女各2名の学生（関東学連所属）が選ばれ前途洋々の学生界の幕開けとなった本年は，オールジャパンの王座奪還へ向けた学生の気迫がうかがえます。

さて，この本年度初のそして一番権威のある大学対抗リーグ戦を下記の要領で開催する運びとなりました。

この大会は，関東学連所属140数校の大学の伝統と名誉をかけ，技と技の競い合い，そして，学校独自の応援合戦に魅力を集約できると思います。

特に1，2部校は学生の模範でもあり，また，ハイレベルの技術を有し，会場には異様なほどの熱気があふれています。

つきましては，学生のたゆまない努力の成果を実際に目の当りに見て頂き，プレーヤー1人1人に絶大なる皆様の御声援を切にお願い致します。

記

1．出　　催　　関東学生バドミントン連盟

2．日　　程　　5月1日(土)　中央区立体育館（都営1号線人形町駅下車）
5日(水)　板橋区立体育館（都営6号線志村坂上駅下車，上履持参願います）
6日(木)　〃　〃
8日(土)　〃　〃
9日(日)　〃　〃
女子　AM9：30～　　男子　PM1：00～

3．入 場 料　　当日券　300円　　前売券　200円　　小学生以下無料
前売券発売所　　〒150 渋谷区神南1－1－1岸記念体育会館
関東学生バドミントン連盟　TEL 03(469)7565

4．出 場 校　　（男女1，2部）

（男女1部）			（2部）		
法政大学	日本体育大学		慶応大学	早稲田大学	
中央大学	日本女子体育大学		専修大学	明治学院大学	
日本体育大学	東京女子体育大学		大東文化大学	国学院大学	
早稲田大学	青山学院大学		千葉大学	埼玉大学	
日本大学	群馬大学		関東学院大学	共立大学	
青山学院大学	大妻大学		立教大学	東京学芸大学	

5．入 替 戦　　（無料）　5月21日(金)　22日(土)　駒沢体育館

関東学生バドミントン連盟

＝大会予定カレンダー＝

◆すでに行われた大会

1月24・25日＝トマス杯大会アジア東地区予選決勝（東京）
2月1日＝第5回国際競技大会（日独大会）（会津若松）
2月8日＝同大会（函館）
2月11日＝同大会（東京）
2月14・15日＝全日本総合選手権団体戦（東京）
3月5日＝第7回全日本女子チャンピオンズトーナメント（東京）
4月2・3日＝トマス杯大会アジア地区予選決勝・対マレーシア（マレーシアにて）

◆開催を予定し準備中の大会

6月24～29日＝全日本実業団選手権（神奈川県藤沢市）
8月1～6日＝全国高校総合体育大会（長野県中野市）
8月11～15日＝全日本教職員選手権（東京都）
8月18～20日＝全国中学生大会（仙台市）
9月12～15日＝全日本社会人選手権（宮崎市）
10月25～28日＝国民体育大会（佐賀県牛津町）
10月26～31日＝全日本学生選手権（東京都）
12月8～12日＝全日本総合選手権個人戦（東京都）
52年2月19・20日＝全日本総合選手権団体戦（東京都）

バドミントン界　第77号　　第8巻第3号　　定価 220円

昭和51年3月1日発行
編集／発行人・秦　浩

©1976　無断転載を禁ず

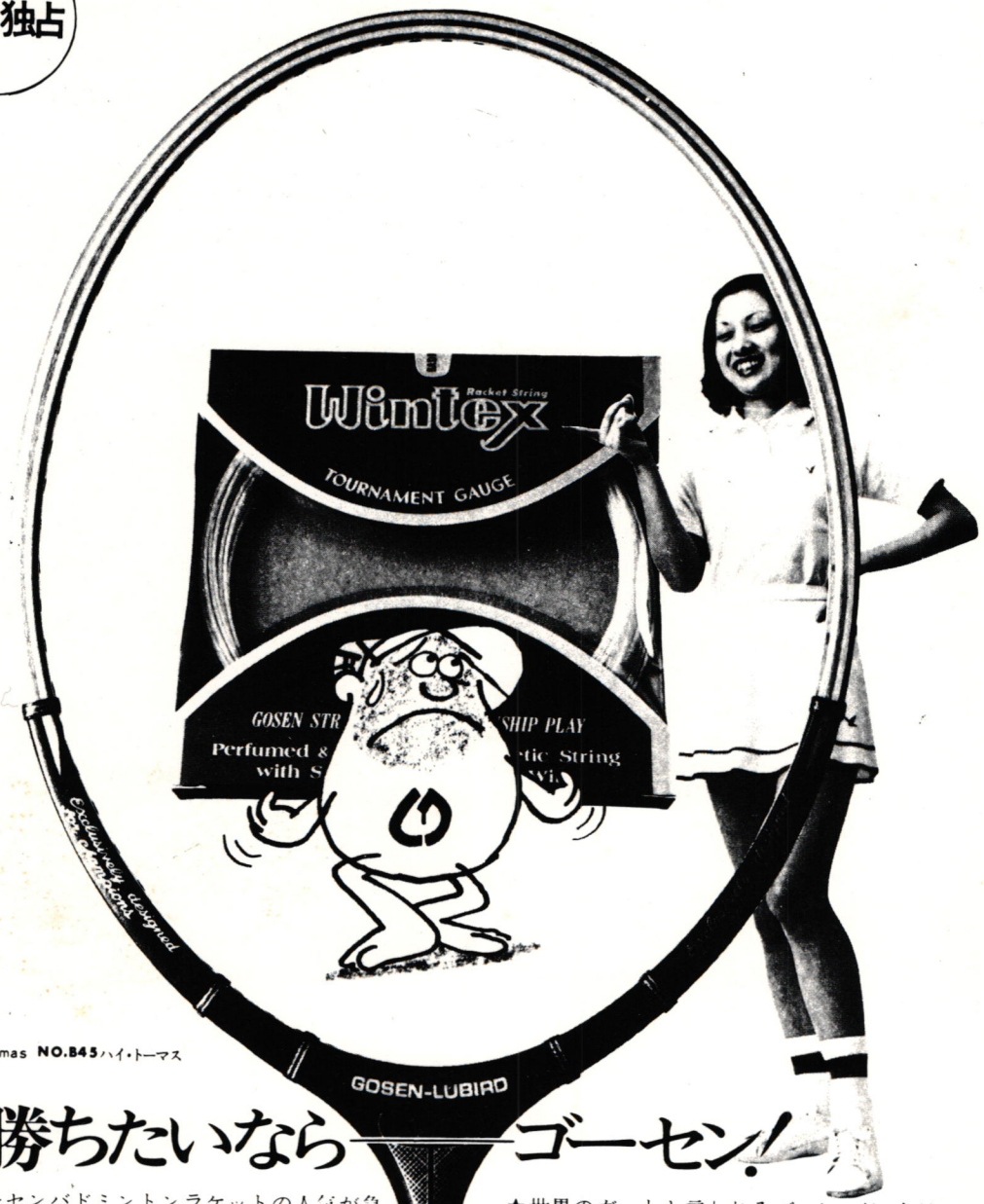
発行所・日本バドミントン協会

郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351／03－467－7095(直通)
振替　東京32193

印刷所・明宏印刷株式会社　　東京都豊島区南大塚2－29－8

スピード、パワー、スマート——近代バドミントンを追求するゴーセン

人気独占



Hy Thomas NO.845ハイ・トーマス

勝ちたいなら——ゴーセン!

ゴーセンバドミントンラケットの人気が急上昇しています。一流選手のアドヴァイスを積極的に取り入れ、開発された特殊合板による力強いフレーム、抜群の弾力性、重量・バランスの素晴らしさなどがその秘密。

さらに世界で初めてのステンレスワイヤー巻付・特殊油・香水入りガット《ウィンテックス》が加われば まさに鬼に金棒。あなたのスコアアップはゴーセンにおまかせ下さい。

★世界のガットと言われるゴーセンガットは、その一本一本にすべて品質保証のネームが記入されています。よく確かめ類似品にご注意下さい。

●シャープさで定評のゴーセンバドミントンラケットもお試し下さい。

ラケットの決め手

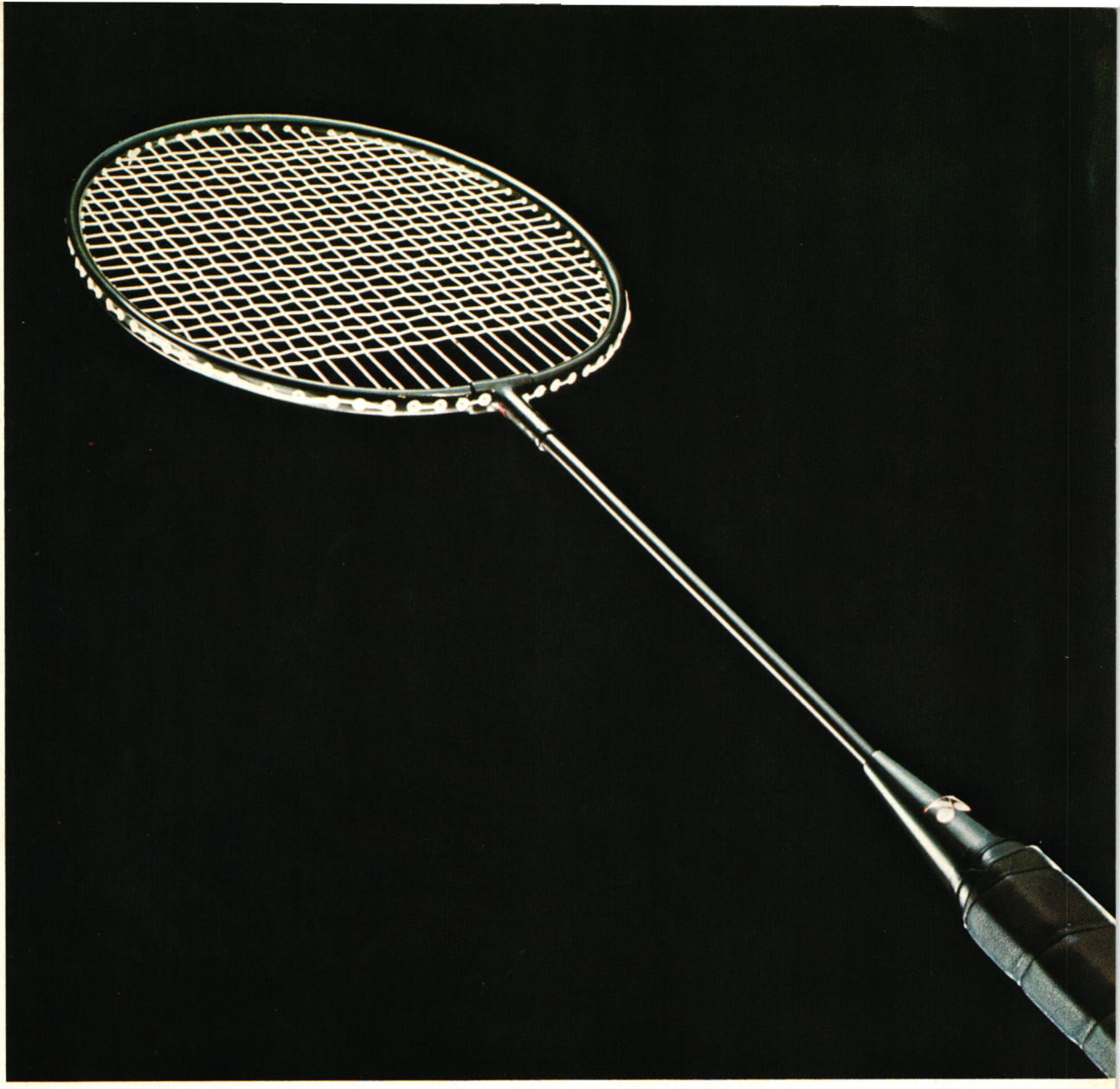
Hy Thomas

株式会社ゴーセン

●本社・大阪市東区豊後町4 ☎06-942-5816

●東京支店・東京都台東区蔵前4-14-2 ☎03-862-6576

月刊「バドミントン界」第77号
昭和五十一年三月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十九年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価二百二十円



時速270kmのスマッシュ！

まっ黒いラケットから、まっ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利にしなります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

No.8100 BLACKEN

●No.8100ブラッキー……￥5,500

YONEX